TOSHIBA
Leading Innovation >>>

システム形名
HWH-FB370C（一般地向け）
HWH-FB460SC（一般地向け）
HWH-FB370C-Z（塩害地向け）
HWH-FB460SC-Z（塩害地向け）
HWH-FB370CN（寒冷地向け）
HWH-FB460SCN（寒冷地向け）

貯湯タンクユニット
HWH-FB370CT（一般地向け）
HWH-FB460SCT（一般地向け）
HWH-FB370CT-Z（塩害地向け）
HWH-FB460SCT-Z（塩害地向け）
HWH-FB370CTN（寒冷地向け）
HWH-FB460SCTN（寒冷地向け）

ヒートポンプユニット
HWH-450CU（一般地向け）
HWH-600CU（一般地向け）
HWH-450CU-Z（塩害地向け）
HWH-600CU-Z（塩害地向け）
HWH-450CUN（寒冷地向け）
HWH-600CUN（寒冷地向け）

時間帯別電灯契約用
季節別時間帯別電灯契約用

東芝自然冷媒（CO_2）ヒートポンプ給湯機（家庭用）

取扱説明書

割引き料金の適用について

この機器は、通電制御による特別割引き料金の適用対象製品です。
適用にあたっては、最寄りの電力会社に申請してください。

- このたびは東芝自然冷媒（CO_2）ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書、工事説明書、据付作業確認書を販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。
- お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。

お願い

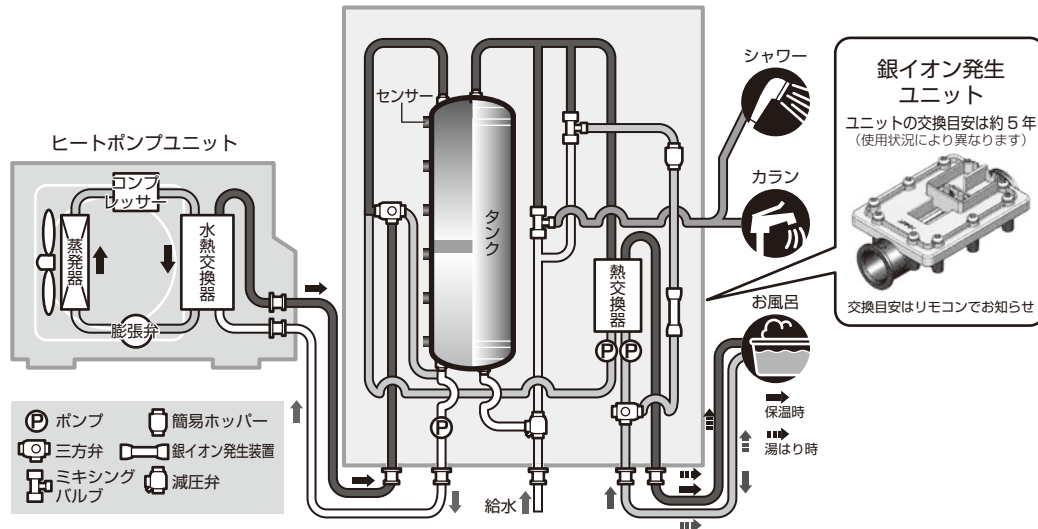
東芝ヒートポンプ給湯機は外気温が低くなると、圧縮機保護、および水配管の凍結防止のため自動的に動作しますので、常時元電源、漏電遮断器を入れたままご使用ください。

日本国内専用品
Use only in Japan

ヒートポンプ給湯機について

■ 空気の熱を効率良く集めてお湯を沸かします。

ヒートポンプ給湯機は、「空気の熱」を吸収した「冷媒」が、「コンプレッサー」で圧縮されることによりさらに高温になり、「水熱交換器」で「冷媒の熱」を「水」に伝え、お湯を沸かすシステムです。

※システム図は概念図ですので、本商品の構成とは異なります。

■ 知っておきたいこと

●ヒートポンプ給湯機は、お湯の使用量を学習して必要な量だけを沸上げるため、消費電力を抑えることができ、地球温暖化の原因となるCO_2の排出量を減らせます。
また、限られた容量のタンクにお湯を貯めて使用する製品ですので、お湯を多く使用する予定の場合やまだお湯を使用したいのに残湯量表示がすべて消えた場合は、「沸増しのしかた」（27ページ）の手順で沸増しを行ってください。

●学習したお湯の量を夜間時間帯の沸上げと昼間時間帯の沸増しでまかないます。
また、必要な量だけしか沸上げませんので、残湯表示が全部点灯しないことがあります。

●貯湯式給湯機の特徴として沸上げたお湯をいったんタンクに貯めます。貯めたお湯は放熱により徐々に温度が下がります。したがって、お湯を使わなくても残湯量表示が減ることがあります。

●沸上げモードの使用目安は下表のとおりです。

沸上げモード	設定内容	使用湯量	電気料金
おすすめ	標準的な設定です。	標準	標準
たっぷり	お湯の使用量が多いときの設定です。	多め	高め

●「おすすめ」モードで使用中、頻繁に残湯量表示が消えなければ、「たっぷり」モードに設定するよりも「沸増し」を利用する方がお得です。また、「おすすめ」モードでは省エネのため、浴槽のお湯の「沸かしなおし」ができません。

●省エネのため、浴槽に前日の残り湯がある状態で湯はりを行うと、残り湯の温度により湯はりを途中で止めます（U:23エラー表示）。浴槽の残り湯を抜き、リモコンのエラー解除を行ってから、再度湯はりを行ってください。

●自動保温をするとタンク内の温度が低くなり、お湯を有効に使用できなくなります。省エネのためには、「ふろ自動運転時間」を「0」に設定（24ページ）して、「高温たし湯」（20ページ）をご使用ください。

●貯めたお湯の使いかた

貯めたお湯は、２つの使いかたがあります。

①**湯はり・給湯に出湯する…** シャワー カラン お風呂

②**タンクのお湯を熱交換する…追いだき・保温に使われます**

※どちらもタンク残湯表示に反映します。

お湯の沸上げは、お湯の使用量を製品が学習し、湯切れ（残湯目盛り”0”）にならないように沸上げ温度（65～90℃）と必要な湯量を沸上げます。（残湯量表示が全部点灯しないことがあります）

■ 簡単操作で湯はり・自動保温・自動たし湯・追いだきができます。

●浴槽の保温・追いだきはタンクのお湯と熱交換器を通して行います。追いだきや長時間の保温運転を行うと、タンク内の湯温が下がります。したがって、お湯を使わなくても残湯量表示が減ることがあります。

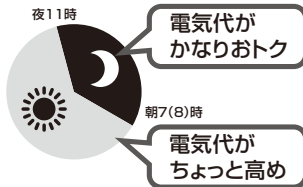
■ 銀イオンの湯

●おふろの湯はり水路に銀イオン発生ユニットを搭載しました。銀イオンには除菌・防臭効果がありますので、お湯の水質を保つ効果が期待できます。

▌時間帯別電灯契約専用機器です。

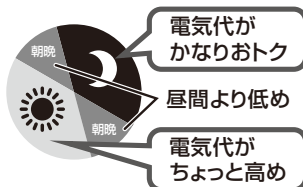
時間帯別電灯契約は、昼間の電気料金を高めにして、かわりに夜間の電気料金をグンとお安くするお得なプランです。
電気代の安い夜間時間帯にお湯を沸かし、昼間に使用するのが基本ですので、ランニングコストを大幅に低減できます。
電力会社と「時間帯別電灯契約」または「季節別時間帯別電灯契約」のどちらかで契約してお使いください。

時間帯別電灯
[夜間8(9)時間型]

夜間時間帯は
夜11時～朝7(8)時までの
8(9)時間

時間帯別電灯
[夜間10時間型]

夜間時間帯は
夜10時～朝8時までの
10時間

季節別(3時間帯別)時間帯別電灯

電力量料金が
夜間・昼間・朝晩
の3つに分かれます

※詳しくはお近くの電力会社にご確認ください。

▌つぎの地域では設置できません。

●一般地向け製品は次世代省エネ基準Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ地域用です。次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域での設置はできません。
●連続的に外気温度がマイナス 5℃以下になる地域では、寒冷地向け製品をご使用ください。
●寒冷地向け製品は次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域用です。
●最低外気温度がマイナス 10℃を下回る地域では貯湯タンクユニットは屋内に設置してください。
●塩害地(海浜地区で潮風が直接あたる場所、海岸より約500m～約1km以内の地域)や、温泉地など特殊な場所には設置できません。(塩害地向け製品を除く)

地域区分	都道府県名
Ⅰ	北海道
Ⅱ	青森県、岩手県、秋田県
Ⅲ	宮城県、山形県、福島県、栃木県、新潟県、長野県
Ⅳ	茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県
Ⅴ	宮崎県、鹿児島県
Ⅵ	沖縄県

なお、同一県内であっても、次世代省エネルギー基準地域区分が異なる場合があります。

もくじ

安全上のご注意

●商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示･図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表　示	表示の意味
⚠警告	この表示の項目は、「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること」を示します。
⚠注意	この表示の項目は、「取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温･低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院･長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが･やけど･感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋･家財および家畜･ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の説明
禁止	⃠は禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■据付前の注意事項

⚠警告

専門業者

据付･配管･電気工事は、必ずお買い上げの販売店または工事店に依頼する
ご自分で据付工事をされますと、火災･感電･水漏れの原因になります。

純正部品

循環金具･アース棒など、別売り部品も東芝品を使用する
純正以外の部品を使うと、事故･故障の原因になります。

禁止

塩害地には設置しない（塩害地向け製品を除く）
機器が故障するおそれがあります。故障した場合は保証期間中でも有料修理となります。
塩害地……海浜地区で潮風が直接あたる場所、海岸より約500m～約1km以内の地域
重塩害地…海浜地区で潮風が直接あたる場所、海岸より約500m以内の地域

禁止

業務用･改造後の使用はしない
業務用に使用しないでください。事故･故障の原因となります。安全点検を行ってください。

禁止

温泉地など特殊な場所には設置しない
有害なガスで機器が故障するおそれがあります。
故障した場合は保証期間内でも有料修理となります。

⚠注意

上水道

水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用する
塩分・石灰分・その他の不純物が多く含まれていたり、酸性水質の地域での使用は避けてください。
温泉水・地下水・井戸水の使用は、水質によって故障・水漏れの原因になります。

■据付後の確認事項

⚠警告

アース工事

アース工事がされているか確認する
故障や漏電のときに感電の原因になります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

施工確認

機器の近くにガス類や引火物が置かれていないことを確認する
発火の原因になります。

施工確認

ヒートポンプユニットが屋内に設置されていないことを確認する
万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。

⚠注意

設置する床面が防水処理・排水処理されているか確認する
水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります。

脚をアンカーボルトで固定しているか確認する
地震などが発生した場合、本体が倒れてけがをすることがあります。

凍結防止対策をしているか確認する
配管が破損してやけどをすることがあります。

機器やメイン・シンプルリモコンを、浴室など湿気の多いところに取り付けていないか確認する
火災・感電の原因になります。

リモコンを、直射日光の当たるところ、屋外や燃焼器具の上など高温になるところに取り付けていないか確認する
変色、変形、火災の原因になります。

ヒートポンプユニットを隣家に配慮した場所に設置しているか確認する
運転音や振動が伝わり隣家に被害を与える場合があります。

ヒートポンプユニットをキッチンの換気扇の近くに設置していないか確認する
油分の付着や排気により、性能低下や故障の原因になります。

ヒートポンプユニットのドレンホースが確実に配管されているか確認する（一般地向け）
不確実な場合、設置場所の周辺を濡らす原因になります。

■使用上の注意事項

⚠警告

機器の近くにガス類や引火物を置かない
発火の原因になります。

貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニットの前面カバーは開けない
感電の原因になります。

給湯・排水時は熱湯が出るおそれあり。やけどに注意する
給湯せんを開いた直後は水が出ますがすぐに熱い湯に変わります。
シャワーを使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。いきなり頭や体にかけず湯温を十分確認してから使用してください。
排水せんを操作した場合、熱湯が出ることがあります。

給湯時は給湯せん本体に手をふれない
やけどをすることがあります。朝、最初に給湯せんを開くときに蒸気が吹き出ることがあります。
給湯せんは少しずつ開いてください。

ヒートポンプ配管および接続口には手をふれない
やけどをすることがあります。

安全上のご注意（つづき）

■使用上の注意事項

⚠警告

ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンには手をふれない
けがをすることがあります。

ヒートポンプユニットの空気吸込口・吹出口に棒や手を入れない
内部でファンが回転していますので、けがをすることがあります。

追いだき中やふろ自動運転のポンプ循環中は循環金具から離れる
熱い湯が出てやけどをすることがあります。

循環金具のフィルターがゆるんだり、外したまま使用しない
髪の毛が吸い込まれるなど、思わぬ事故の原因になります。

浴槽にお湯がないときに「あつく」ボタンを押さない
熱い湯が出てやけどをすることがあります。

入浴の際は必ず浴槽の湯温を確認する
やけどをすることがあります。

⚠注意

そのまま飲用しない
長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。
飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。
・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

貯湯タンクユニットの電源ボックスカバーは閉じておく
ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。点検・操作の後には必ずねじをしめてください。

機器の上に乗ったり、配管に力を加えない
本体が転倒したり、配管が破損してやけどなどの事故の原因になります。とくに、幼児・子供に注意してください。

ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない
通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。

積雪時には除雪をする
誤作動や故障の原因になります。

循環金具はふさがない
配管の故障や、やけどの原因になります。

銀アレルギーの方は、入浴を避ける
金属アレルギーの大半はニッケルアレルギーです。（銀の指輪などにもニッケルが含まれています。）銀イオン発生ユニットに使用している銀（純度99.99%）は極めてアレルギーになりにくい金属です。もし、銀アレルギーの方がいらっしゃいましたら入浴を避け、販売店・据付工事店または『東芝電気給湯機ご相談センター』までご連絡ください。銀イオン発生装置を停止することができます。

自家浄水システムの処理水を使用しない
貯湯タンク内に菌が繁殖しやすくなります。

■点検・お手入れの注意事項

⚠警告

動作点検

漏電遮断器の動作を確認する
漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。

手をふれない

逃し弁の点検時には逃し弁排水管に手をふれない
やけどをすることがあります。

⚠注意

動作点検

逃し弁を点検する
点検しないとタンクや配管が破損したり逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

熱湯排水禁止

タンクの熱湯は直接排水しない
やけどをすることがあります。水で薄めてから流してください。
または湯はり等を行ってお湯を使いきってから排水してください。

水抜き

1ヶ月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をする
水質が変化することがあります。

漏水点検

水漏れを点検する
とくに集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。日常点検してください。

■修理・譲渡等の注意事項

⚠警告

分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わない
発火したり異常動作してけがをすることがあります。

⚠注意

説明書添付

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書と別冊の工事説明書を商品本体の目立つところにテープ止めしてください

■異常時の注意事項

⚠警告

電源を切る

異常時（こげ臭い、製品からの水漏れ等）は、漏電遮断器のレバーを下げて電源を「切」にして、お買い上げの販売店または東芝電気給湯機ご相談センターへ連絡する
異常のまま使用されますと、故障や感電・火災の原因になります。

各部のなまえとはたらき

●この機器は夜間にお湯を沸かしてタンクに貯めておき、必要なときに使用するのが基本です。
●アースは、万一漏電した場合、電気を大地に逃がすため、機器のアース端子と地中に埋設されたアース棒または、家屋に取り付けられたアース端子をアース線で接続することにより構成されます。
●貯湯タンクユニットに「安全上のご注意ラベル」が貼り付けてありますのでお読みいただき、確認してください。

■外観および内部構造

●別売部品および現場施工部品を組み込んだイラストになっています。
●概略図となっていますので配管詳細は工事説明書をご参照ください。

標準引込み配線例 ※くわしくは工事説明書をご覧ください。

〈その1〉

電力量計
分電盤
配線用遮断器
引込線
機器の端子台へ（200V）

〈その2〉

電力量計
分電盤
引込線
配線用遮断器
ジョイントボックス
機器の端子台へ（200V）

メインリモコン（台所用）

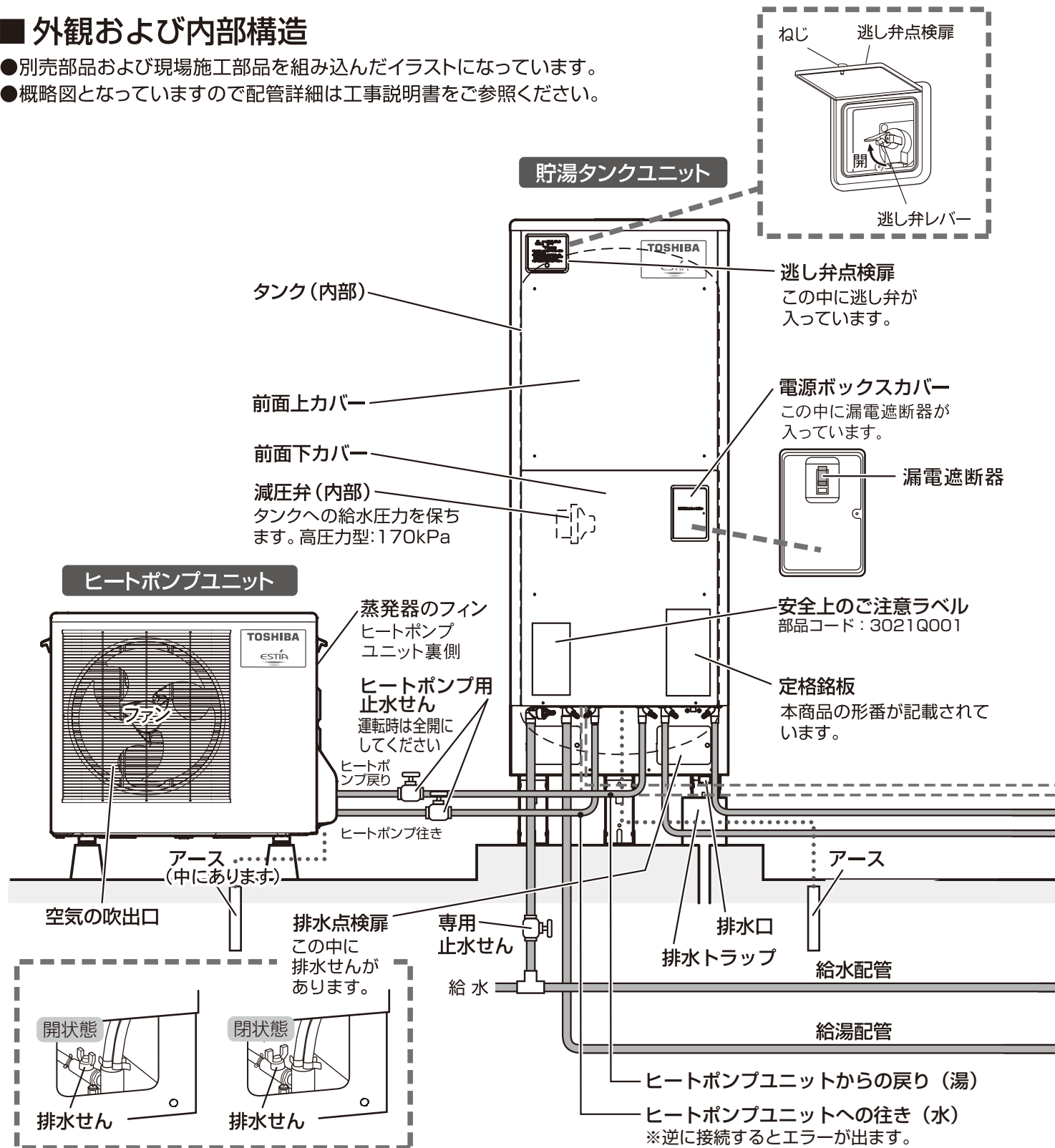
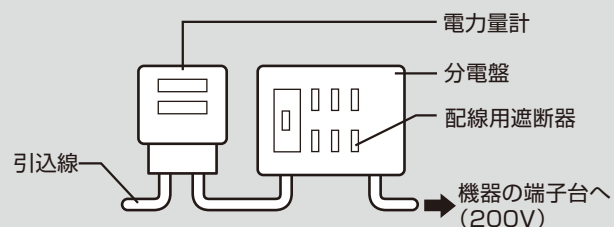
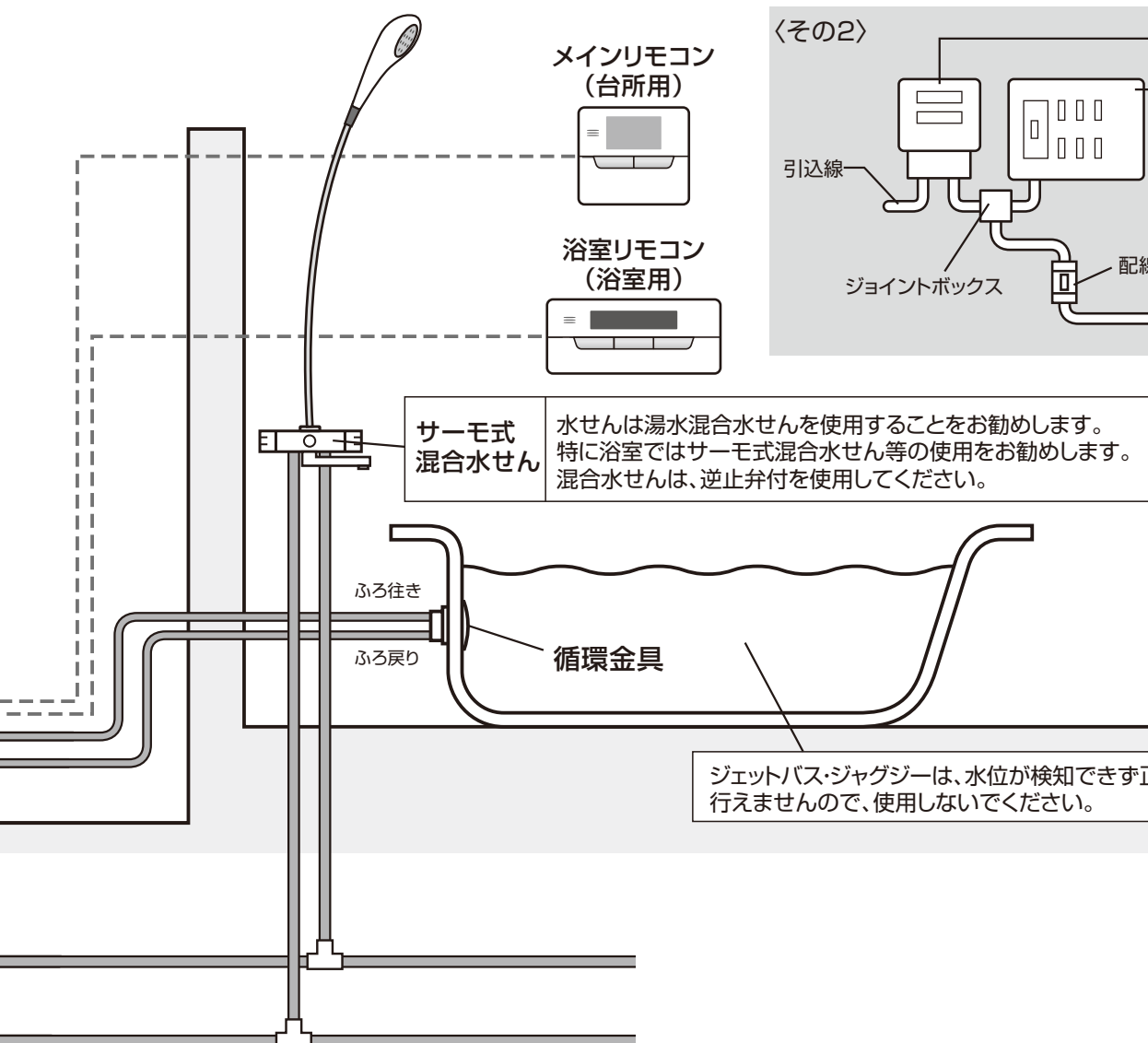
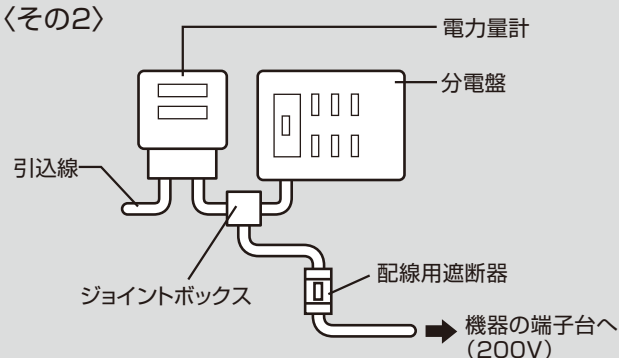
浴室リモコン（浴室用）

サーモ式混合水せん	水せんは湯水混合水せんを使用することをお勧めします。 特に浴室ではサーモ式混合水せん等の使用をお勧めします。 混合水せんは、逆止弁付を使用してください。

ふろ往き

ふろ戻り

循環金具

ジェットバス・ジャグジーは、水位が検知できず正常に運転が行えませんので、使用しないでください。

お願い

貯湯タンクユニットの「安全上のご注意ラベル」がなくなったり、文字が読みにくくなった場合は、部品コードを指定しラベルを購入し、元の位置に貼ってください。

各部のなまえとはたらき（つづき）

■メインリモコン[HWH-RM80F]

●イラストはふたが開いた状態です。
●液晶の表示は全表示している状態です。

操作部

スピーカー

「おはなし」ボタン
浴室リモコンと会話（インターホン）をするときに使います。
▶22ページ

「沸増し」ボタン
昼間の電気でタンクの沸増しを設定します。
▶27ページ

「沸上げモード」ボタン
タンク内の沸上げモードを設定します。
▶25ページ

「メニュー」ボタン
各設定をするスタートボタンです。設定内容は設定したリモコンに反映されます。
▶13～41ページ

「給湯温度 ▼▲」ボタン
●給湯温度を設定します。▶16ページ
（30℃～48℃、50℃、60℃）
●設定内容を変更します。▶13～41ページ

「おふろ」ボタン
ふろ自動運転を動作・停止します。
▶18ページ

「予約」ボタン
自動湯はり完了時間を設定します。
▶30ページ

「停止」ボタン
タンクの沸上げを停止する日数を設定します。
▶32ページ

マイク

「決定」ボタン
設定内容を決定します。
▶13～41ページ

表示部

「停止」表示
沸上げの停止しているときに表示します。

「予約」表示
湯はり予約がされているときに表示します。

「沸上げ中」表示
タンク沸上げ中に表示します。

残湯量表示
タンク内の残り湯量を5段階で表示します。▶28ページ

「高温」表示
給湯温度が高温であることを示します。注意してください。

「優先」表示
メインリモコンの給湯温度設定が優先のときに表示します。
▶16ページ

設定メニュー表示
リモコンの「メニュー」ボタン→「給湯温度 ▼▲」ボタンで各設定をマークの組み合わせで表示します。

「給湯」表示
給湯温度が表示されていることを示します。

デジタル表示
現在時刻・湯はり予約時間・使用湯量・エラーコードを表示します。

ロック表示
操作ボタンをロックしていることを表示します。

沸上げモード表示
タンク内の沸上げモードを表示します。▶25ページ

沸増し表示
沸増しのパターンを表示します。
▶27ページ

デジタル表示
給湯温度・各設定のレベルを表示します。

「設定メニュー表示」のマークのなまえ

マーク	なまえ	マーク	なまえ
(時計)	時計マーク	(タンク)	タンク湯温マーク
(音符)	チャイムマーク	(蛇口)	使用湯量マーク
(ナビ)	ナビゲーションマーク	(レベル)	レベルマーク
(おはなし)	おはなしマーク	(制限)	制限マーク

●メインリモコンは防水タイプではありませんので、水をかけないでください。故障の原因になります。
●メインリモコン表示部のバックライトの点灯時間は、ボタンを押してから約10秒です。

■浴室リモコン[HWH-RB80F]

●イラストはふたが開いた状態です。
●けい光表示部の表示は全表示している状態です。
（ボタン操作がないときは全消灯しています）

操作部

おはなし　あつく　おふろ
メニュー　給湯温度　優先/決定　洗 浄　ぬるく　たし湯　ふろ湯量　ふろ温度　マイク

「おはなし」ボタン
メインリモコンと会話（インターホン）をするときに使います。
▶22ページ

「あつく」ボタン
浴槽の湯温を上げます。
▶19ページ

「おふろ」ボタン
ふろ自動運転を動作・停止します。 ▶18ページ

スピーカー

マイク

「メニュー」ボタン
各設定をするスタートボタンです。設定内容は設定したリモコンに反映されます。
▶ 14～42ページ

「優先/決定」ボタン
- 給湯温度の優先権をメインリモコンと浴室リモコンで切替えます。▶16ページ
- 設定内容を決定します。

「ぬるく」ボタン
差し水（約30℃）の入／切を行います。
▶20ページ

「ふろ湯量 −＋」ボタン
湯はりする水位を設定します。（4cm刻み、7段階）
▶17ページ

「給湯温度 ▼▲」ボタン
- 給湯温度を設定します。▶16ページ（30℃～48℃、50℃、60℃）
- 設定内容を変更します。▶14～42ページ

「洗浄」ボタン
ふろ循環配管の洗浄の入／切を行います。▶29ページ

「たし湯」ボタン
たし湯の入／切を行います。
▶20ページ

「ふろ温度 ∨∧」ボタン
湯はり・保温の温度を設定します。（35℃～48℃）1℃刻み
▶17ページ

浴室リモコンは省エネのため5分間操作しないと全消灯します。何かボタンを押していただければ表示します。

表示部

●浴室リモコンは防水タイプですが、できるだけ水をかけないでください。故障の原因になります。
●浴室リモコンを使用しない時間が5分以上続くと、表示部が自動的に消灯します。また、お湯を使用するとリモコンの表示が点灯します。給湯温度が50℃、60℃に設定されているときは、表示部は消灯しません。

初めてお使いになるとき

●初めてお使いになるときは、販売店または工事店に下記内容が実施されているか確認してください。
実施されているときは「現在時刻の合わせかた」(13ページ)から、実施されていないときは下記手順に従ってください。

⚠警告

貯湯タンクユニットが満水になっていることを確認してから通電する
満水にしないで通電すると負圧によりタンクが破損し、やけどのおそれや水漏れの原因になります。

タンクや配管内のゴミ·油などを洗い流すため、1度給水したらすべて排水し、再び給水してください。

1.貯湯タンクユニットに給水する

1 逃し弁レバーを立てて、逃し弁を開く
逃し弁は逃し弁点検扉の中にあります。

2 専用止水せんを開く
約20分～40分で排水トラップに水が出て満水になります。(見えないときは水の音で確認してください)

3 専用止水せんを閉じる

2.給水したあとで排水する

4 排水せんを開く
約40分～50分で水が出つくします。
(排水からはじめる場合は、逃し弁レバーを上げてください)

5 排水せんを閉じる

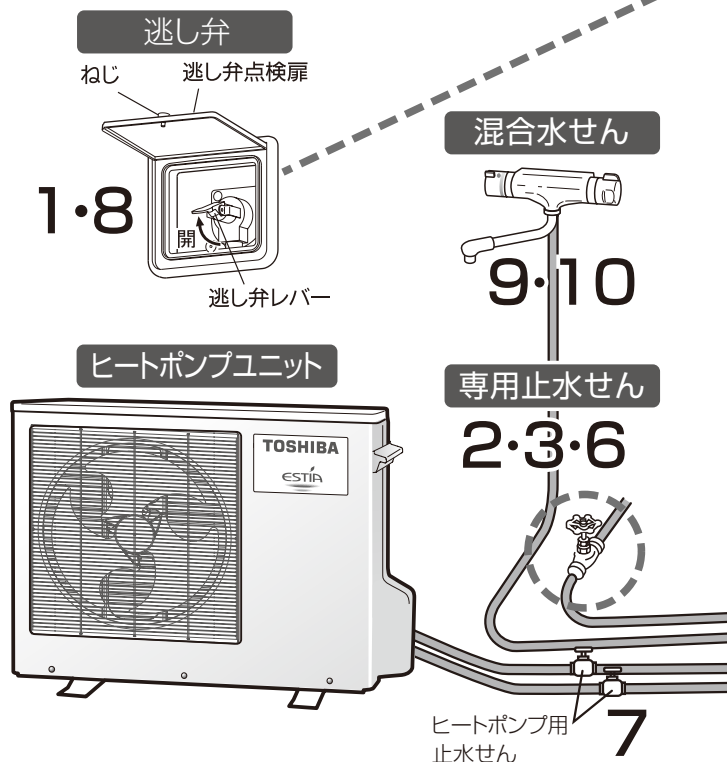
3.もう1度給水する

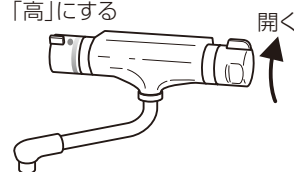
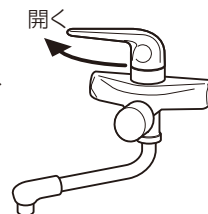
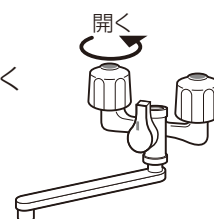
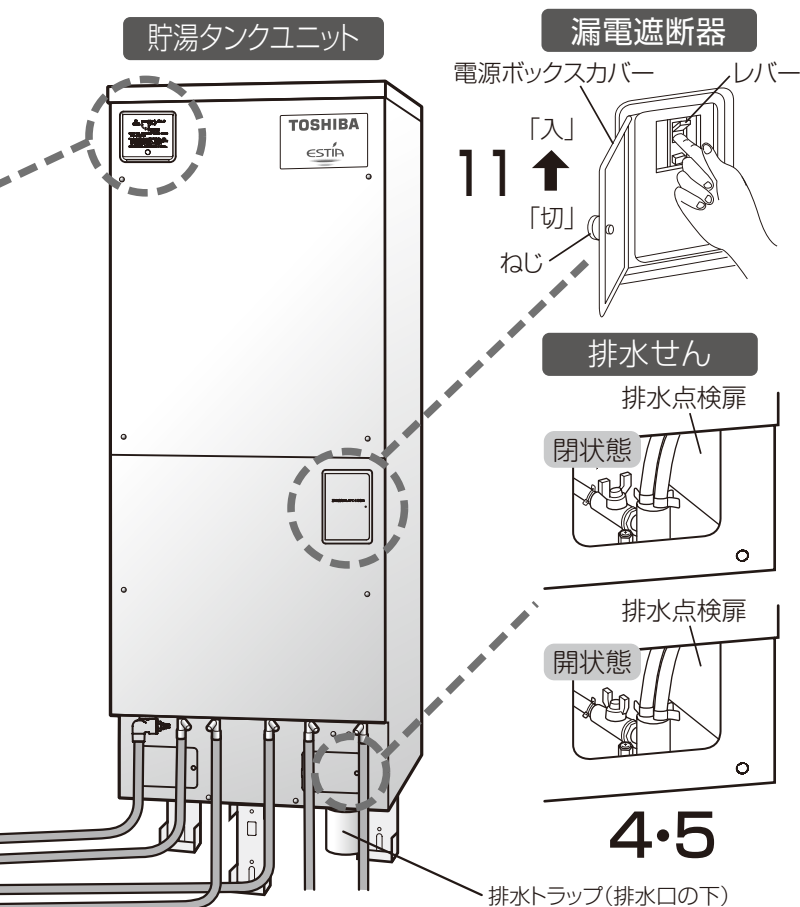
6 専用止水せんを開く
約20分～40分で排水トラップに水が出て満水になります。(見えないときは水の音で確認してください)

7 ヒートポンプ用止水せんが開いていることを確認する

8 満水になったら逃し弁レバーを戻して、逃し弁を閉じる
逃し弁点検扉を閉じ、ねじを確実にしめます。

9 混合水せんのお湯側を開く
右の図を参照してください。
混合水せんから水が出ることを確認します。

10 混合水せんのお湯側を閉じる

混合水せんの種類とお湯側の開きかた

▌サーモスタットタイプ
湯温調節を「高」にして
給湯せんを開く

▌シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回して開く

▌2バルブタイプ
お湯側(給湯せん)だけを開く

●ご使用のあとは必ず、電源ボックスカバー･逃し弁点検扉･排水点検扉の扉を閉じて、ねじを確実にしめてください。

4.電源を入れる

通電は、必ず給水をしてから行ってください。

11 漏電遮断器のレバーを「入」にする

ポンプが約3分間断続運転します。
電源ボックスカバーを閉じ、ねじを確実にしめてください。

5.現在時刻を合わせる

12 メインリモコンで現在時刻を合わせる

13ページをご覧ください。

現在時刻が設定されると、「運転モード」が「おすすめ」になっていますので、すぐにお湯を沸かし始めます。
はじめての沸上げの場合は、全量を沸上げるまで運転を継続します。

沸上げが開始されると、排水トラップに水が排水されます。これはお湯を沸かすとき水が膨張するので、その膨張分を逃がすためのものです。370Lのタンク容量のもので一晩の内に約11L排水されますが、異常ではありません。
また、昼間でも沸増し中は膨張水が排水されます。

現在時刻を合わせるときのポイント

現在時刻の設定は、リモコンの「メニュー」ボタン→「▼▲」ボタンで進めて行きますが、そのときの「▼▲」ボタンで他の設定もつづけて行うことができます。各設定の流れは下図の通りになります。

メインリモコン

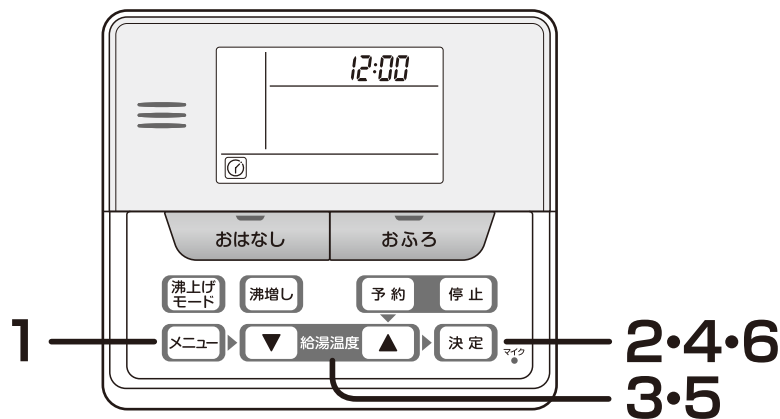
マーク	内容	ページ
	現在時刻を合わせます。	▶ 13ページ
	チャイムを選びます。	▶ 33ページ
	ナビゲーションを制限します。	▶ 35ページ
	ナビゲーションの音量を変えます。	▶ 37ページ
	通話の音量を変えます。	▶ 39ページ
	タンク内の湯温を表示します。	▶ 41ページ
	お湯の使用量を表示します。	▶ 41ページ

※「現在時刻の設定」以外は、設定したリモコンのみに反映されます。

浴室リモコン

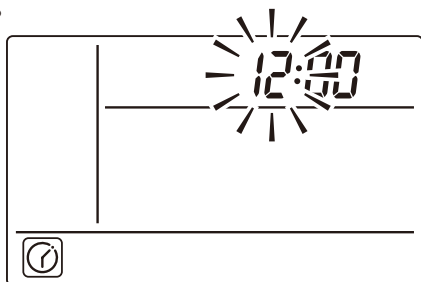
記号	内容	ページ
F1	自動保温時間を変更します。	▶ 24ページ
F2	現在時刻を合わせます。	▶ 14ページ
F3	チャイムを選びます。	▶ 34ページ
F4	ナビゲーションを制限します。	▶ 36ページ
F5	ナビゲーションの音量を変えます。	▶ 38ページ
F6	通話の音量を変えます。	▶ 40ページ
F7	タンク内の湯温を表示します。	▶ 42ページ
F8	お湯の使用量を表示します。	▶ 42ページ
F9	給湯量ナビの有無を設定します。	▶ 23ページ
F0	銀イオン運転の有無を設定します。	▶ 21ページ

現在時刻の合わせかた

●給湯機をお使いいただくには、必ず現在時刻をメインリモコンまたは浴室リモコンのどちらかで設定してください。
●誤った時刻を設定すると、湯量が不足したり思わぬ電気料金がかかることがありますので、現在時刻を正しく合わせてください。
●時刻は24時間表示です。
●設定中10秒間ボタン操作がないと通常画面に戻ります。その場合は、**1**「メニュー」ボタンを押すからやり直してください。

1 メインリモコンの メニュー を押す

時計マークが点滅

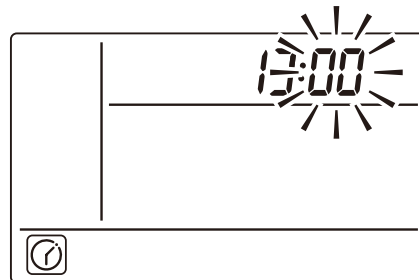
2 決定 を押す

時計マークが点灯し、デジタル表示の「時」が点滅します。

3 ▼ 給湯温度 ▲ で「時」を合わせる

「▲」を押すと1時間ずつ進み「▼」を押すと1時間ずつ戻ります。

例)ここでは13時に合わせることで説明します。
「▲」を1回押して「時」を「13」に合わせてください。

4 決定 を押す

デジタル表示の「時」が点灯し、「分」が点滅します。

5 ▼ 給湯温度 ▲ で「分」を合わせる

「▲」を押すと1分ずつ進み「▼」を押すと1分ずつ戻ります。

6 決定 を押す

メインリモコンで設定した時刻は、浴室リモコンに自動的に反映されます。

7

続けて「チャイムの選びかた」(33ページ)を行う場合は、手順の**2**から始めてください。
通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

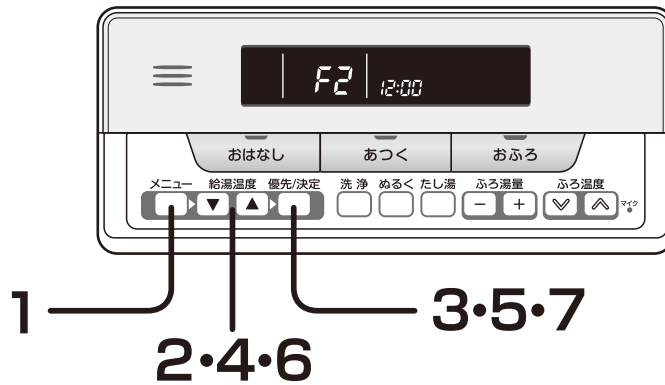
1 浴室リモコンの メニュー を押す

F1が点滅し、2hが点灯

2 給湯温度 の「▲」を**1**回押す

F2が点滅し、12:00が点灯

3 優先/決定 を押す

F2が点灯し、デジタル表示の「時」が点滅

4 給湯温度 で「時」を合わせる

「▲」を押すと1時間ずつ進み「▼」を押すと1時間ずつ戻ります。

例）ここでは13時に合わせることで説明します。
「▲」を1回押して「時」を「13」に合わせてください。

5 優先/決定 を押す

デジタル表示の「時」が点灯し、「分」が点滅

6 給湯温度 で「分」を合わせる

「▲」を押すと1分ずつ進み「▼」を押すと1分ずつ戻ります。

7 優先/決定 を押す

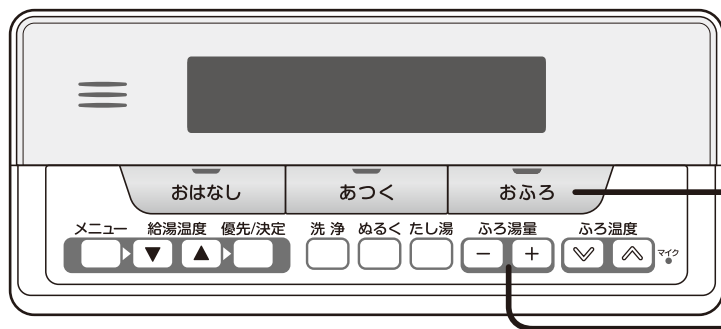
浴室リモコンで設定した時刻は、メインリモコンに自動的に反映されます。

8 続けて「チャイムの選びかた」（34ページ）を行う場合は、「▲」を押し、F3が点滅するのを確認し手順の**3**から始めてください。
通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

お願い

- 2時間以上の停電で現在時刻がリセットされます。改めて上記の手順にしたがい現在時刻を合わせてください。
- 月に一度は現在時刻を確かめて、ズレがあるときは正しく合わせてください。時刻にズレがあると電気料金が割高になることがあります。
- 現在時刻が表示されていないとき（表示部が横棒表示）は時刻が設定されていません。設定手順にしたがい現在時刻を合わせてください。

初めての湯はりのしかた

- 湯はり水位の表示が点滅ではなく点灯している場合は、下記の設定は終わっていますので、このページの操作は必要ありません。
- 初めての湯はりは、湯はり量を浴槽の大きさに合わせるために行います。湯はり完了までは混合水せんやシャワー等から湯をたさないでください。水位が正しく取れず、湯があふれる等の不具合が起きます。
- 初めての湯はりのときは、湯はり水位の全目盛りが点滅しています。
- 初めての湯はりは、沸上げ運転終了後に行うことをおすすめします。沸上げ運転終了後に行う場合は、湯はりが完了後そのまま入浴できますが、沸上げ運転終了前に行うとタンク内、浴槽内の湯温が低いため設定温度になるまで時間がかかります。

1 浴槽の残り湯がないことを確認し、浴槽にせんをする

湯はり水位の全目盛り点滅

2 ふろ湯量 [－][＋] で、湯はり量を決める

「－」「＋」のどちらかを押すと180Lを表示し、100～400Lの間で20L刻みで設定できます。設定の目安は1.25坪ユニットバスで180L表示がおすすめです。(湯量の設定は目安です。)

3 [おふろ] を押す

湯はり水位の全目盛り点滅、矢印点滅
「おふろ」ボタンのランプが点灯し、湯はりを始めます。

音声ナビでお知らせ

「湯はりを開始します。」(フルナビ･ナビ1設定時)
「排水せんをしめてください。」(フルナビ･ナビ1設定時)

4 湯はりが完了すると

音声ナビでお知らせ

「♪チャイム♪」(常時)
「湯はりを終了します。」(フルナビ･ナビ1設定時)

湯はりが完了すると、湯はり水位表示の下から4目盛りまでが点灯します。
初めての湯はりを沸上げ運転終了後に行った場合は、**5**の操作は不要です。
このまま「ふろ自動運転」を行いますので、おふろが利用できます。初めての湯はりを沸上げ運転中に行った場合は、下記の操作を行ってください。

5 [おふろ] を押す

「おふろ」ボタンを押して、おふろランプが消えたことを確認してください。
おふろを使用する場合は浴槽の水を抜き、「湯はりをする」(18ページ)を行ってください。

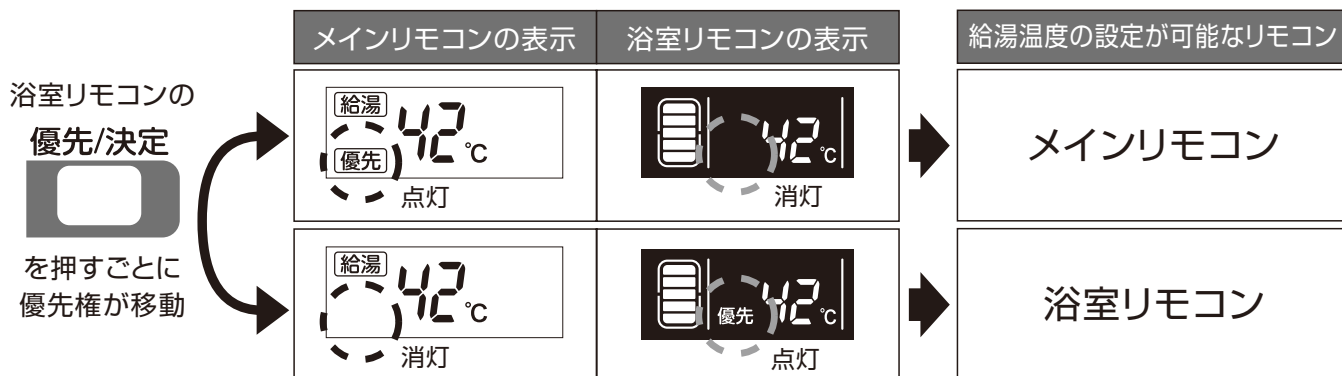
お願い

湯はり量が少なかったり、多かったりしたときは、リセット後にもう一度このページの**1**から設定してください。
リセットは、浴室リモコンのボタン「優先／決定」、「おはなし」、「メニュー」を順番に、同時に3秒以上押してください。リセットをすると、湯はり水位の全目盛りが点滅し、現在時刻以外の設定が初期状態に戻ります。給湯温度の設定もリセットされますので、16ページをご覧いただき、再設定してください。

給湯温度を設定する

●台所、洗面所、シャワーなど給湯温度をまとめてお好みの温度に設定できます。
●メインリモコン･浴室リモコンのうち、優先権のあるリモコンで給湯温度の設定ができます。
●お買い上げ時の設定は、メインリモコンに優先権があり、「42℃」になっています。

給湯温度の優先表示について

●リモコンの表示部に「優先」が表示されているリモコンに優先権があり、給湯温度の設定ができます。
●優先権は浴室リモコンの「優先/決定」ボタンを押すごとに移動します。
●お湯の使用中に「優先」の切替えや、給湯温度を「50℃」「60℃」に設定することはできません。

浴室でお湯を使用する場合は、必ず浴室リモコンに「優先」が表示されていることを確認してください。
優先権がメインリモコンにあるまま浴室でお湯を使用すると、給湯温度をメインリモコンで変更され、やけど等の事故につながるおそれがあります。

1 給湯温度を設定するリモコンに「優先」表示が無い場合は2に、ある場合は3に移る

2 浴室リモコンの 優先/決定 を1度押す

リモコンの「優先」表示が給湯温度を設定したいリモコンに移動します。

POINT

「優先権」がないリモコンで給湯温度の「▼▲」を押すと、「音声ナビ」で優先設定を切替えるよう指示があります。

3 給湯温度 ▼ ▲ を押し設定

「▲」を押すと1℃上がり「▼」を押すと1℃下がります。設定できる温度は30℃～48℃（1℃刻み）、50℃、60℃です。

POINT

50℃、60℃に設定するには、48℃まで温度を上げたあと、1秒程度待ってから「▲」ボタンを2秒以上押すと「50℃」に変わり、さらに続けて押すと「60℃」に変わります。
給湯温度の設定が「50℃」「60℃」の場合、浴室リモコンの表示部は消灯しません。

メ モ

●**ワンポイント**:ふだんはメインリモコンに「優先」を設定し、浴室で使うときのみ浴室リモコンに「優先」を移動させると、リビングでの使い勝手がよくなります。
●混合水せんの種類によっては出湯するときに水を混合し、設定した温度より低くなります。このような場合は、給湯温度の設定を高く（プラス10℃）設定してください。（混合水せんの説明書などにも同様の記述がありますので、お確かめください。）
●シャワーが弱い、混合水せんから出るお湯の量が少なく感じる場合は、給湯温度の設定を「60℃」にして水と混ぜてご使用ください。高温の設定ですので、熱い湯でやけどをしないよう気をつけてください。浴室リモコンの表示部は消灯しません。

ふろ湯量を設定する ふろ温度を設定する

●ふろ湯はり(ふろ自動運転)をするときの、湯はり温度・保温温度と湯はり水位・たし湯水位を設定します。
●夏場、冬場など温度や湯量を調節したいときに操作します。

ふろ湯量

1 浴室リモコンの ふろ湯量 で調節する

湯はりの水位を1目盛り約4cmで7段階に設定でき、
「 ＋ 」を押すと1目盛り上がり、
「 － 」を押すと1目盛り下がります。
「初めての湯はりのしかた」後の表示部の目盛りは下から4または2(大きな浴槽の場合)目盛りです。

設定した表示部の湯はり量は、実際の湯はり量と異なることがあります。
31ページの「おこのみ」設定をした場合、ふろ湯量の調節はできません。

ふろ温度

1 浴室リモコンの ふろ温度 で調節する

浴槽のお湯の温度を35℃～48℃で1℃おきに設定でき、
「 ︿ 」を押すと1℃上がり、
「 ﹀ 」を押すと1℃下がります。
お買い上げ時の設定は42℃です。

お 願 い

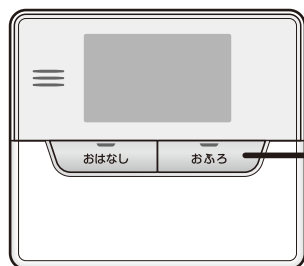
●湯はり中に水位の変更をすると、変更した水位で止まります。ただし、変更した水位にすでに達している場合は、湯はりが止まるだけです。
●5分以上停電があると「ふろ自動運転」は解除されます。また、2時間以上停電が続くと、現在時刻がリセットされますので、湯はり水位目盛りは全点滅になり、「初めての湯はりのしかた」を再度行ってください。

お 願 い

●「ふろ温度」の設定は、ふろ湯はり完了時の浴槽内の温度ではありません。浴槽内の温度は季節や配管の温度状態により異なります。リモコンの設定は目安としてお使いください。
●湯はり中に「ふろ温度」の変更をしても、設定した温度に湯はりできないことがあります。(「おふろ」ボタンを押したときの設定温度で湯はりするからです)

湯はりをする（ふろ自動運転）

●メインリモコンまたは浴室リモコンの「おふろ」ボタンを押すだけで、設定した温度・水位（湯量）で湯はりをします。
　湯はりが完了すると、自動保温・自動たし湯を始め、おふろの湯加減を保ちます。
●沸上げモードが「おすすめ」設定のときに、浴槽に前日の残り湯（ぬるいお湯）がある場合は、湯はりを途中で止めます。
　（エラーU:23表示）エラーを解除し（51ページ）浴槽の湯を全部抜いてから再度湯はりしてください。
●湯はりをする場合は、残湯量表示が3つ以上あることを確認してください。
　湯はり前や湯はり中に、残湯量表示が1つになると湯はりが完了しないことがあります。

メインリモコン

図はふたを閉じた状態です

浴室リモコン

図はふたを閉じた状態です

1 浴槽のせんをしてふたをする。

2 メインまたは浴室リモコンの おふろ を押す

ランプが点灯し、湯はりを行います。

浴室リモコン表示部の「矢印」が点滅

●湯はり時には、時計用デジタル表示部が現在時刻と銀イオン運転表示を交互に行います。詳しくは、21ページをご覧ください。

音声ナビでお知らせ

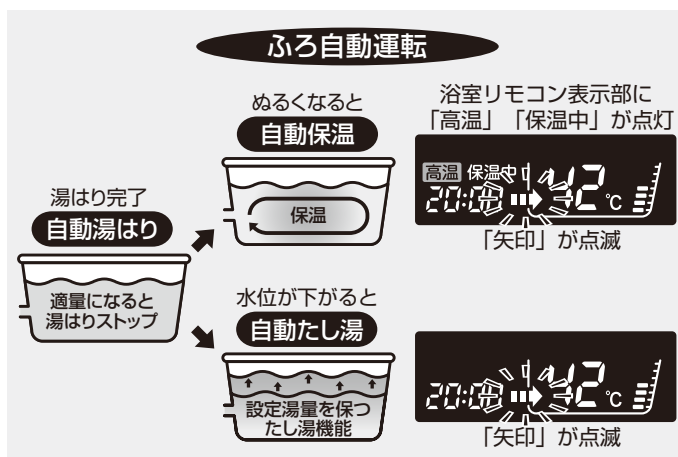
「湯はりを開始します。」（フルナビ･ナビ1設定時）
「排水せんを閉めてください。」
（フルナビ･ナビ1設定時）

3 湯はりが完了すると

音声ナビでお知らせ

「♪チャイム♪」（常時）
「湯はりを終了します。」（フルナビ･ナビ1設定時）

湯はりが完了すると

設定した温度･湯量を保つために、自動保温･自動たし湯を始めます。

●ふろ自動運転は、湯はりから約2時間（お買い上げ時の設定）つづきます。
●ふろ自動運転の時間は変更できます。（24ページ）
●ふろ自動運転が終わると「おふろ」ボタンのランプが消えます。

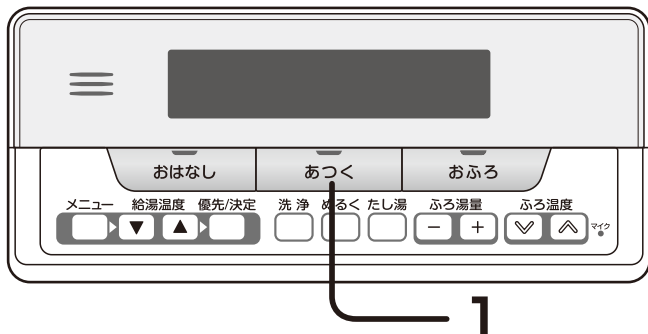
湯はりを途中で終了するときや、ふろ自動運転を停止するには、「おふろ」ボタンをもう1度押します。

お 願 い

●浴槽の残り湯が循環金具の上にきている場合は、「おふろ」ボタンを押すとあたためなおせますが、下の場合はお湯が溢れたりしますので、浴槽のお湯を全部抜くか、循環金具の上まで蛇口･シャワーで水をたしてから「おふろ」ボタンを押してください。
●自動湯はり中に蛇口･シャワーからお湯または水をたさないでください。お湯が溢れたりします。
●入浴する際には、必ず浴槽の湯温を確認してから入浴してください。適温で湯はりをしていますが、機器の故障等で高温になっている場合があります。
●必ず「ふろ自動運転」を停止してから浴槽の排水せんを抜いてください。運転中のまま抜くとエラーが発生します。
●5分以上の停電があると「ふろ自動運転」は解除されます。また、停電やリセットにより、設定内容が消えてしまった場合は、リモコンの水位表示が点滅しますので、「初めての湯はりのしかた」（15ページ）を行ってください。
●エラーコードが出た場合は、エラー解除してください。（エラー解除のしかた51ページ）

湯かげんを調節する

- ●湯かげんがぬるいとき、自分の好みの温度に調節するために使用します。
- ●「あつく」ボタンは前日の残り湯の「追いだき」にも使用できます。
  （沸上げモードが「たっぷり」設定の場合のみ「追いだき」ができます）
- ●沸上げモードが「おすすめ」設定の場合は、「あつく」を押すと「高温たし湯」（20ページ）になります。
- ●沸かしなおしはタンク内の熱を利用するため使用湯量が減ったり、湯切れするおそれがあります。
  湯切れした場合には沸増しをご使用ください。（毎日湯はりをして新しいお湯を利用していただくことをおすすめします。）

⚠警告

循環金具から離れる

「あつく」やふろ自動運転のポンプ循環中は、循環金具から離れる
熱い湯が出てやけどすることがあります。

禁止

浴槽にお湯がないときに「あつく」ボタンを押さない
熱い湯が出てやけどすることがあります。

確認

入浴するときは必ず浴槽の湯温を確認する
やけどすることがあります。

「ふろ自動運転中」は、設定温度プラス約1℃、停止中は設定温度まで湯温を上げます。
停止中に使用する場合は、循環金具より10cm以上に湯（水）面があることを確認してください。

ゆるやかにあつくしたいとき（まろやか追いだき）

1 浴室リモコンの あつく を押す

ランプが点灯して、設定温度まで上げます。

「高温」「保温中」が点灯、「矢印」が点滅

音声ナビでお知らせ

「あつくを設定しました。」（フルナビ・ナビ1設定時）
「高温にご注意ください。」（常時）

※追いだき中は、浴槽内の温度を点滅表示します。（あつくナビ）
あつくナビの内容は23ページをご覧ください。

2 「あつく」が完了すると

音声ナビでお知らせ

「♪チャイム♪」（常時）
「あつくを終了します。」（フルナビ・ナビ1設定時）

急いであつくしたいとき（スピード追いだき）

1 浴室リモコンの あつく を押す

1秒おきに3回押してください。
ランプが点灯して、設定温度まで上げます。

「保温中」が点灯、「高温」「矢印」が点滅

音声ナビでお知らせ

「あつくを設定しました。」（フルナビ・ナビ1設定時）
「高温にご注意ください。」（常時）

※追いだき中は、浴槽内の温度を点滅表示します。（あつくナビ）
あつくナビの内容は23ページをご覧ください。

2 「あつく」が完了すると

音声ナビでお知らせ

「♪チャイム♪」（常時）
「あつくを終了します。」（フルナビ・ナビ1設定時）

お願い

- ●「あつく」ボタンを押す前は、タンク内のお湯の量や温度を確認してください。タンク内の温度が低いときや、浴槽内のお湯の温度が低いときは、設定温度にするまで時間がかかります。
- ●湯はり中は使用できません。また、タンク内の温度が設定温度以下のときは、「あつく」ボタンを押しても温度が上がりません。
- ●「あつく」ボタンを使用すると、タンク内の熱を利用するためタンク内の湯温が下がります。また冬期の前日の残り湯をあたためなおすときなどは、温度が大きく下がりますので、湯切れに気をつけてください。（毎日湯はりをして新しいお湯を利用していただくことをおすすめします。）
- ●浴槽内の水位が循環金具より下のときは、循環金具の上まで蛇口・シャワーで水をたしてから「あつく」ボタンを押してください。
- ●「あつく」ボタンを押すとポンプ循環し、循環金具より熱いお湯が出ますので、離れてください。

たっぷりにしたいとき（たし湯）

●たし湯は、たっぷりのお風呂にしたいときに使用します。

1 浴室リモコンの［たし湯］を押す

浴槽の循環金具より、浴室リモコンの浴槽表示内温度のお湯が20Lでます。

たし湯表示が点灯、矢印表示が点滅

音声ナビでお知らせ

「たし湯を設定しました。」(フルナビ設定時)
「湯温にご注意ください。」(フルナビ設定時)

たし湯を停止するには、もう1度「たし湯」ボタンを押します。たし湯表示が消灯し、お湯が止まります。

※たし湯、あつく、ぬるく、高温たし湯は、湯はり中使用できません。
※残湯表示がないときは操作できません。(U:22が発生する場合があります)
※たし湯、あつく、ぬるく、高温たし湯の最初に配管内の熱いお湯が出る場合がありますのでやけどに気をつけてください。

あつめのお湯でたっぷりにしたいとき（高温たし湯）

●高温たし湯は、あつめのたっぷりのお風呂にしたいときに使用します。
●沸上げモードが「おすすめ」のときは、操作**1**のみで高温たし湯になります。
●沸上げモードが「たっぷり」のときは、操作**1**に続けて操作**2**をすると高温たし湯になります。

1 浴室リモコンの［あつく］を押す

ランプが点灯して、沸かし直しを行います。

「高温」「保温中」が点灯、「矢印」が点滅

2 「あつく」ボタンを操作後、10秒以内に［たし湯］を押す（「たっぷり」モードのみ）

「高温」「たし湯」「75℃」が点灯、「矢印」が点滅

音声ナビでお知らせ

「あつくを設定しました。」(フルナビ･ナビ1設定時)
「高温にご注意ください。」(常時)

浴槽内のデジタル表示が75℃になり、循環金具から20Lの熱いお湯が出ますので、やけどに気をつけてください。
残湯温度が低いときは、75℃のお湯はでません。

途中で止めたいときは「あつく」を押します。
※ボタンを押してもすぐには止まりません。
適温のお湯を出して、配管内に残った熱いお湯を流します。

ぬるくしたいとき（ぬるく）

1 浴室リモコンの［ぬるく］を押す

表示部の湯はり温度が「30℃」になり、循環金具から約30℃のお湯が出て約1℃下げます。

浴室リモコン表示部に「ぬるく」が点灯、「矢印」が点滅

音声ナビでお知らせ

「ぬるくを設定しました。」(フルナビ設定時)
「湯温にご注意ください。」(フルナビ設定時)

2 「ぬるく」が完了すると

音声ナビでお知らせ

「♪チャイム♪」(フルナビ設定時)
「ぬるくを終了します。」(フルナビ設定時)

※湯はり量が多いと、浴槽からお湯があふれることがあります。
途中で止めたいときは、もう一度［ぬるく］を押して、動作を止めてください。

湯かげんを調節する

銀イオンの湯

●銀イオンの湯は自動運転です。特にお客様の操作はいりません。
●湯張り･たし湯時に浴槽へ銀イオンを付加します。
●銀イオンは、湯はり水にのみ付加します。給湯水(シャワー、カラン等)には銀イオン効果はありません。
※はじめての湯はりでは、銀イオン運転を行いません。
※自動運転によるたし湯時は、銀イオン運転を行いません。

銀イオンの湯

●銀イオン運転が行われている場合、浴室リモコンの「時計表示」と「PLUS」を交互に表示します。
例:たし湯時

お願い

浴槽の材質、使用水域の水質や使用状況によっては、浴槽表面に黒い筋状の汚れが付く場合があります。これは、銀イオンが酸化したり、水質に含まれる塩化物イオンとの反応で生成されたものが、浴槽表面の微細な隙間に入り込んだものです。
<対処方法>
気になる場合は、市販の浴室用塩素系カビ落とし洗剤（成分：次亜塩素酸塩（塩素）、水酸化ナトリウム、界面活性剤）で落とすことができます。
※塩素系洗剤は換気をするなど、洗剤に記載された使用方法を守り正しく安全にご使用ください。

銀イオンの交換時期

●銀イオンは、消耗品です。(保証対象外です。)
銀イオンが残り少なくなると、湯はりなどの運転時に「PLUS」表示の代わりに「E:UP」が表示されます。お近くのサービスセンターへ、交換(有料)をご依頼ください。

銀イオン運転を解除したいとき

●銀イオン運転をさせたくないときには、解除することができます。

1 浴室リモコンの [メニュー] を押す

2 [給湯温度 ▼ ▲] の「▼」を押し「F0」を表示

3 [優先/決定] を押す

4 [給湯温度 ▼ ▲] の「▼」「▲」を押し「0」を選ぶ

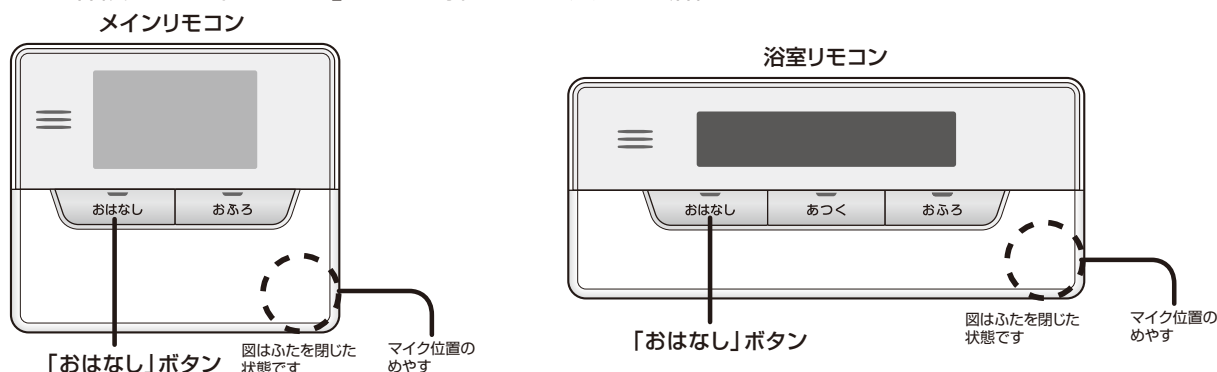
●「0」銀イオンなし、「1」銀イオンあり

5 [優先/決定] を押す

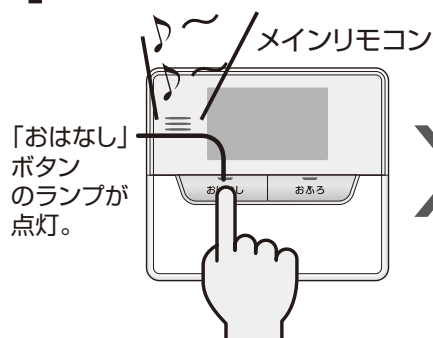
時計用デジタル表示部に銀イオン積算運転時間が表示されます。

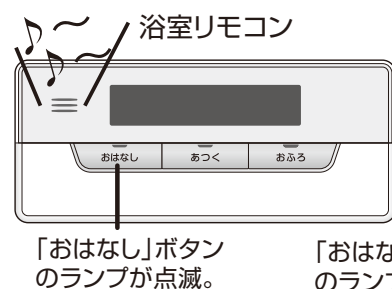
※銀イオンの交換時期は、約5年（約200時間）が目安です。
（毎日1回180L湯はりをすることを想定しています。）

「おはなし」ボタンの使いかた

●メインリモコンと浴室リモコンの間でインターホンとしてご使用できます。
プライバシー保護のため、「おはなし」ボタンを押すごとに交互の会話となります。

〈メインリモコンから呼び出して会話する場合〉

（浴室リモコンからも呼び出せます。）

1 メインリモコンの「おはなし」ボタンを押す。

メインリモコンのチャイムが鳴り、メインリモコンの「おはなし」ボタンのランプが点灯（送信状態）します。

2

メインリモコンに連動して、浴室リモコンのチャイムが鳴ります。
浴室リモコンの「おはなし」ボタンのランプが点滅（受信状態）します。

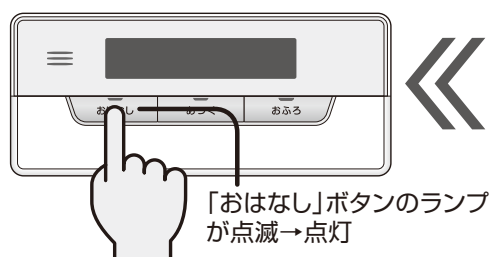
3 メインリモコンに向かって話しかける

メインリモコン

チャイムが鳴り終わったら、音声が送信できます。

4

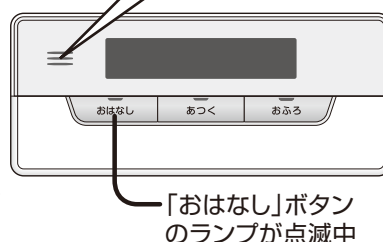
メインリモコンの音声が浴室リモコンに送信されます。

5 返答するときは、浴室リモコンの「おはなし」ボタンを1回押す

浴室リモコンの「おはなし」ボタンが点灯（送信状態）に変わったら、音声が送信できます。

6 以降繰り返し

交互に「おはなし」ボタンを押すことで、会話ができます
浴室リモコンから呼び出す場合も同様の手順で行ってください。

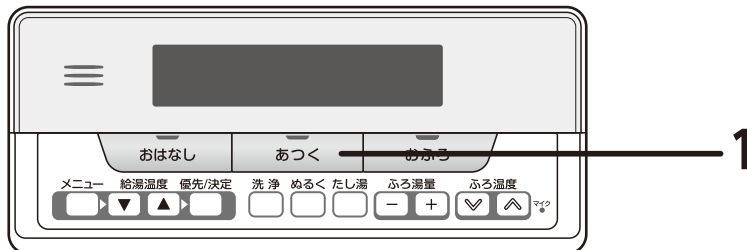
解除方法

最後に「おはなし」ボタンを押してから約1分間で自動解除となります。
手動で解除する場合は、「おはなし」ボタンのランプが点灯しているときに、もう1回「おはなし」ボタンを押してください。

浴室事故を防ぐには 高齢者や幼児がひとりで入浴する際には、家族が時々声をかけることが大切です。

お願い

●おはなしの音量調節は、メインリモコンが39ページ・浴室リモコンは40ページをご覧ください。
●声質などによっては、インターホンが聞こえづらい場合があります。聞こえづらいときは、話すかたがなるべくマイクに近づいて話すようにしてください。また、リモコンのふたを開けて話しても聞こえやすくなります。

あつくナビ・給湯量ナビ

●あつくナビ…「あつく」ボタンを押すと、追いだき運転を始めます。
そのとき、リモコンのおふろ表示部に現在の浴槽内の温度を点滅表示します。
※運転当初は実際の浴槽温度と異なる値となる場合があります。
●給湯量ナビ…お湯の使用量をリアルタイムでリモコンに表示します。（使用湯量10L（42℃換算）毎）
※表示される湯量は目安です。

あつくナビ

1 浴室リモコンの あつく を押す

<通常時>

<開始時>

<上昇時>

<終了時>

●あつくナビは、表示停止をすることはできません。

給湯量ナビ

●給湯を検出すると浴室リモコンの「0L」、「━」インジケーターが表示されます。（表示される湯量は目安です）

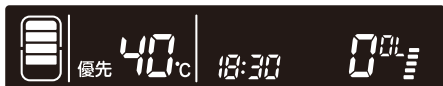
表示内容

<通常時>

<給湯検知時>
0L～2L

<給湯検知時>
2L～4L

インジケーター部は、2Lを計量するごとに増えていきます。

<給湯検知時>
8L～10L

インジケーター部の最大点灯個数は5個です。

<給湯検知時>
10L以上～
12L未満

10Lごとに「ピッ」とブザー音がなります。
100Lに桁上げの場合は「ピピッ」と音がなります。

メモ

●台所や洗面所での利用量も合算されます。
●給湯利用後、約1分経過すると通常表示に戻ります。
再度、お湯を使用すると給湯ナビ画面に戻り、積算が継続されます。一定時間給湯利用がないと積算量がリセットされます。
●990Lを超える使用量は「990L」が表示され、インジケーター部のみ点灯動作を繰り返します。

給湯量ナビの停止方法

1 浴室リモコンの メニュー を押す

2 給湯温度 ▼ ▲ の「▼」を押し「F9」を表示

3 優先/決定 を押す

4 給湯温度 ▼ ▲ の「▼」「▲」を押し「0」を選ぶ

●「0」給湯量ナビ非表示、「1」給湯量ナビ表示

5 優先/決定 を押す

音を消したい場合は36ページ

自動保温時間を変更する

●ふろ自動運転時間の継続時間を0～6時間の間で1時間おきに変更ができます。お買い上げ時の設定は「自動保温」「自動たし湯」を2時間継続するようになっています。
●ふろ自動運転中は、「自動保温」「自動たし湯」を行いますが、「自動保温」のみに設定することもできます。

表示はお客さま購入時の設定です。

F1 2h

おはなし　あつく　おふろ

メニュー　給湯温度　優先/決定　洗 浄　ぬるく　たし湯　ふろ湯量　ふろ温度　マイク

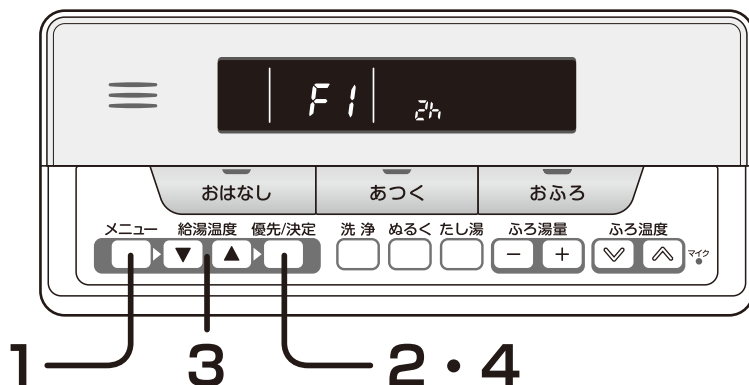
1　3　2・4

1 浴室リモコンの［メニュー］を押す

F1が点滅し、2hが点灯

2 ［優先/決定］を押す

F1 2h

F1が点灯し、2hが点滅

3 給湯温度［▼］［▲］で継続時間を合わせる

2hは2時間を表します。
継続時間は、0h～6h、U1h～U6hで設定でき、Uは「自動保温」のみの設定です。

4 優先/決定［ ］を押す

5 通常モードに戻るには「メニュー」を押します。「▲」を押すと、F2が点滅し「現在時刻の設定」に移ります。

メ モ

記号の説明

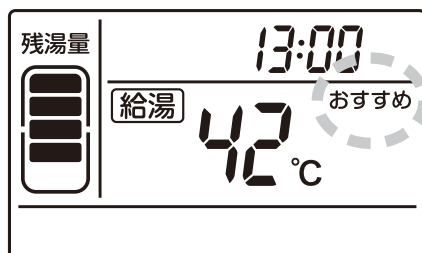
0h～6h	「自動保温」と「自動たし湯」を設定した時間継続します。 0h：湯はり後停止 1h：湯はり後1時間継続 ⋮
U1h～U6h	「自動保温」を設定した時間継続します。 U1h：湯はり後1時間継続 ⋮

メ モ

ふろ自動運転継続時間を「0時間」にすると、湯はりした時点でふろ自動運転を停止します。（保温・たし湯動作はしません）

沸上げモードの設定

●お客さまのお湯の使用量に合わせた、「沸上げモード」（お湯の沸上げ方法）を選ぶことができます。
●「沸上げモード」は「おすすめ」と「たっぷり」の2通り設定でき、お買い上げ時の設定は「おすすめ」になっています。
●この機器は貯湯式の給湯機です。来客などでいつもよりたくさんのお湯が必要なときは、あらかじめ「沸増し」（27ページ）を活用するとお湯が足りなくなるのを防ぐことができます。

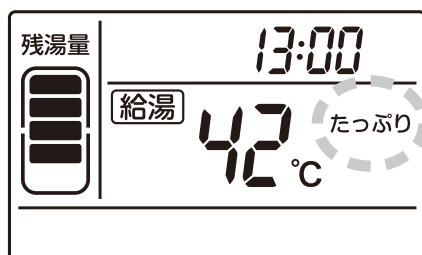
「おすすめ」モード

沸上げ方法

お湯の使用量を学習して必要な量だけを沸上げるので、消費電力を抑えることができ、地球温暖化の原因となるCO_2の排出量を減らすことができます。
お湯の使用量を学習して沸上げ温度、沸上げ量を自動で決定し、夜間時間帯の沸上げと昼間時間帯の沸増しでお湯をまかないます。お湯の使用量が少ない場合は、必要な量だけしか沸上げをしないため、残湯量表示が全て点灯しないことがあります。
来客などで普段よりお湯をたくさん使用するときは、「沸増しのしかた」（27ページ）を設定してください。
頻繁にお湯が足りなくなる場合は、「たっぷり」モードに変更してご使用ください。

●「おすすめ」モードでのお湯の上手な使いかたの例

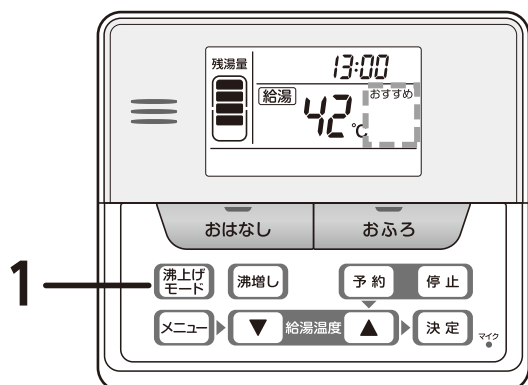
・**少量沸増しを使用する**
「少量沸増し」に設定（27ページ）しておくと、お湯が少なくなってから約1時間の沸増しを行い、自動的に「少量沸増し」が解除されます。約1時間の沸増しで、42℃のお湯が100L（冬期）～200L（夏期）使用できます。

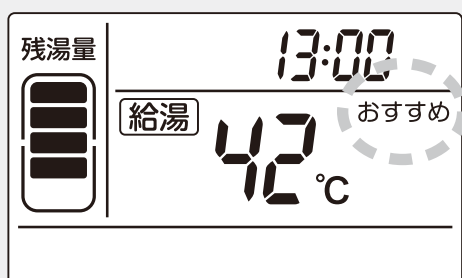
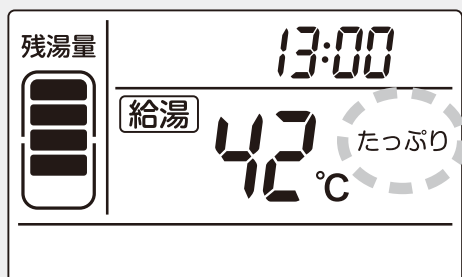
・**自動保温は使用しない**
自動保温するとタンク内の温度が低くなり、お湯を有効に使用できなくなります。
このようなときは「ふろ自動運転時間」を「0」に設定（24ページ）して、「高温たし湯」（20ページ）でご使用ください。

「たっぷり」モード

沸上げ方法

「おすすめ」と同じく、お湯の使用量を学習して必要量を沸き上げます。
「おすすめ」よりもお湯の使用量に余裕があるモードです。
必要な量だけしか沸上げをしないため、残湯量表示が全て点灯しないことがあります。

●「たっぷり」モードでのお湯の上手な使いかたの例

・ 来客などでいつもよりたくさんのお湯が必要なときは、あらかじめ「沸増し」（27ページ）をしておくとお湯が足りなくなるのを防ぐことができます。

1 メインリモコンの 沸上げモード を押す

ボタンを押すごとに液晶表示が切り替り、沸上げのモードが変わります。

- 冬場の水の温度が低いときや、沸上げ中に停電があった場合には設定より低い温度に沸上がります。
- 外気温度が低い場合は、沸上げの運転音が大きくなることがあります。
- 沸上げ温度はヒートポンプユニットから出る湯温を示します。タンクの内に貯湯されると湯温は下がります。
- 沸上げは熱いお湯をタンク上部から貯めていきます。前日のお湯の残りはタンク下部にたまります。

浴室リモコンのみ設置している場合の沸上げモードの変更のしかた

1 浴室リモコンの メニュー を2秒以上押す

P1が点滅し、1が点灯します。

2 優先/決定 を押す

P1が点灯し、右側のデジタル表示が点滅します。

3 給湯温度 ▼ ▲ で沸上げモードを選ぶ

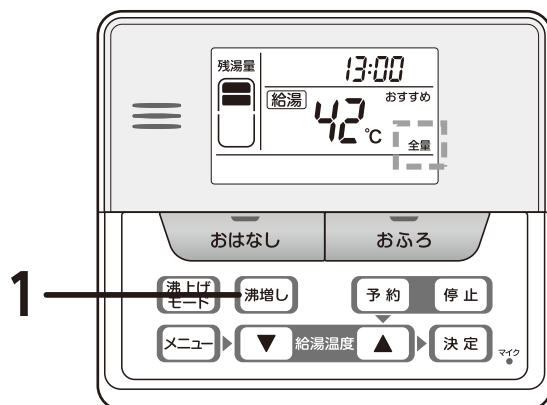
デジタル表示	沸上げモード
1	おすすめ
2	たっぷり

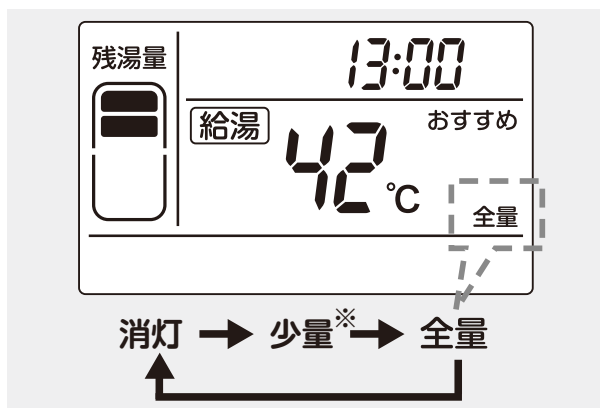
4 優先/決定 を押す

5 設定が終わり、通常画面に戻すには「メニュー」ボタンを押します。10秒間ボタン操作を行わない場合でも通常画面に戻ります。

沸増しのしかた(いつもよりお湯を使いそうなとき)

いつもよりお湯を使いそうなとき

●「沸増し」は昼間の電気でお湯を沸かす機能です。残湯量をめやすに不足しそうなときに使用します。
●「全量沸増し」をするとお湯をたっぷりと使えますが、昼間の電気を利用するので電気料金が割高になります。
●現在時刻が設定されていないと「沸増し」はできません。

1 メインリモコンの 沸増し を押す

ボタンを押すごとに液晶表示が切り替わり、沸増しのモードが変わります。

※「少量」は沸上げモードが「おすすめ」設定のときのみ表示されます

沸増し	めやす
少量	沸上げモードを「おすすめ」に設定しているときのみ設定ができます。 沸上げモードを「おすすめ」以外のモードに変更したとき、および23時になると自動解除します。「少量」設定にしておくと、お湯が少なくなってから約1時間の沸増しを行い、設定を自動解除します。さらにお湯が必要な場合は、再度「少量」を設定してください。(1回の沸増しで、42℃のお湯が100L(冬期)～200L(夏期)使用できます。)
全量	設定後、タンク内のお湯が4/5以下になると沸増しを開始し、全量に沸上げます。 設定は1日限りで、23時になると自動解除します(夜間時間帯の沸上げに入ります)。

※外気温度が低い場合や来客などで、いつもよりたくさんのお湯が必要なときなど、あらかじめ設定しておくとお湯が足りなくなるのを防ぐことができます。

残湯量の見かた

●タンク内のお湯の量を、リモコン表示部の残湯量表示により表します。
●沸上げモードの「おすすめ」、「たっぷり」ともに必要な量だけ沸上げるため、残湯量表示が全点灯しないことがあります。

〈表示内容〉

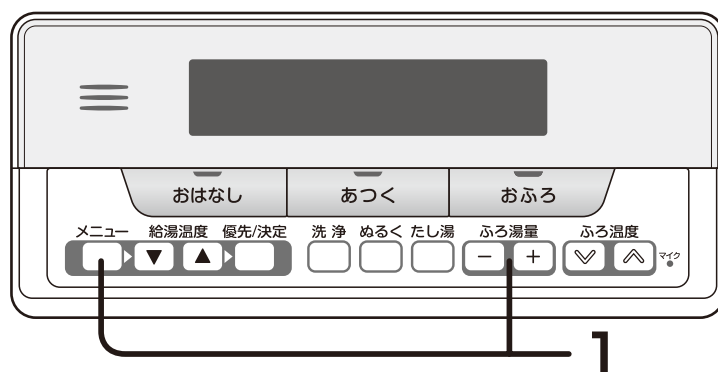
表　示	（目もり0）	（目もり1）	（目もり2）	（目もり3）	（目もり4）	（目もり5）
残湯量	30L未満	1/5	2/5	3/5	4/5	全　量

※残湯量を示す最低湯温は約45℃です。（45℃以下になると表示は消えます）
※何日かお湯を使わないままですと、貯湯タンク内の湯温は放熱で徐々に下がります。45℃付近まで下がると、お湯を使っていなくても残湯量表示が消えることがあります。
※自動保温するとタンク内の温度が低くなりお湯を有効に使用できなくなります。
省エネのためには、「ふろ自動運転時間」を「0」に設定（24ページ）して、高温たし湯（20ページ）をご使用ください。

●沸上げモードを変更すると、残湯量表示が変わることがあります。
●リモコンを浴室リモコンのみ設置している場合、沸増し設定はできません。浴室リモコンから操作できる「ちょっぴり沸増し」をご利用ください。
●お湯をご使用しているときの条件により、いくつかの目もりが同時に消えることがありますが、故障ではありません。

ちょっぴり沸増し（浴室から沸増しをする）

浴室から沸増しをする

●ちょっぴり沸増し…おふろに入っている最中に残湯量が気になった場合などに使います。
※約40分の沸増しを行います。

ちょっぴり沸増し

1 メニュー［　］を押しながら ふろ湯量［－］［＋］の「＋」を押す

インジケーターの一番上の目もりが点滅

ちょっぴり沸増しの解除のしかた

1 メニュー［　］を押しながら ふろ湯量［－］［＋］の「＋」を押す

インジケーターの一番上の目もりが点灯

洗浄のしかた

●貯湯タンクユニットと浴槽をつなぐ、ふろ循環配管の洗浄を行います。
●洗浄には週に1～2度行っていただく「洗浄1」と、月に1度行っていただく「洗浄2」があります。

洗浄1（洗い流し洗浄）

1 浴槽の残り湯を排水し、排水せんは開けたままにする

「おふろ」ボタンのランプが点灯し、ふろ自動運転中のときは、「おふろ」ボタンを押しランプを消してから排水してください。

2 浴室リモコンの 洗浄 を押す

「洗浄」と浴槽内のデジタル表示が01に点灯、「矢印」が点滅

音声ナビでお知らせ

「洗浄を開始します。排水せんを開けてください。」(フルナビ設定時)

「ふろ循環金具」から水またはぬるま湯が14Lでて洗浄します。

3 洗浄が終わると、音声でお知らせします。

音声ナビでお知らせ

「洗浄を終了します。」(フルナビ設定時)

洗浄2（洗浄剤を使う自動洗浄）

1 浴槽の残り湯が、循環金具より5cm以上あることを確認する

ふろ自動運転中(「おふろ」ボタンのランプが点灯)のときは、「おふろ」ボタンを押しランプを消してください。残り湯が足りない場合はたしてください。

2 浴室リモコンの 洗浄 を2秒以上押す

「洗浄」と浴槽内のデジタル表示が02に点灯、「矢印」が点滅

音声ナビでお知らせ

「洗浄を開始します。排水せんを閉めて洗浄剤を入れてください。」(フルナビ設定時)

3 洗浄剤を入れる

自動で約20分間循環運転し洗浄します。

4 洗浄が終わると、音声でお知らせします。

音声ナビでお知らせ

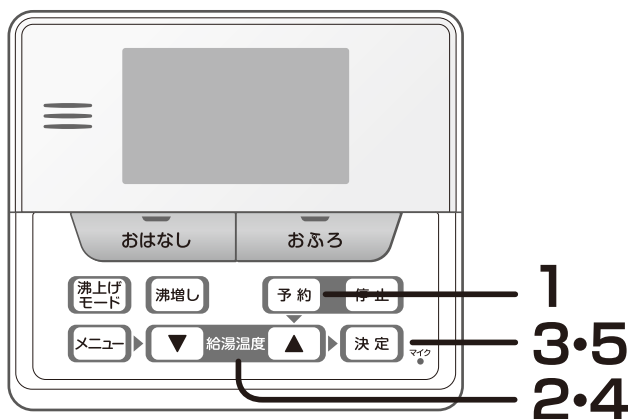
「♪チャイム♪」「洗浄を終了します排水せんを開けてください。」(フルナビ設定時)

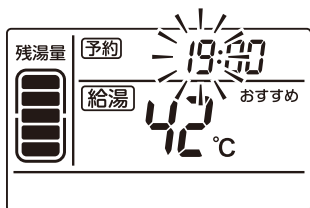
5 排水後、排水せんを閉め、もう1度手順の2から洗浄剤を入れずに行い(すすぎ)終了

お願い

●洗浄剤は、当社推奨品の「クリーンリル」ショーワ株式会社取扱品TEL.058-232-1131または、「ジャバ(1つ穴用)」ジョンソン株式会社に限ります。
●洗浄を行うとタンク内の湯温が下がりますので、なるべくその日の入浴後に行ってください。
●長期間「洗浄2」を行わないと、機器故障の原因となりますので、定期的に行ってください。

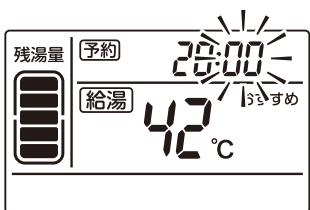
湯はり予約のしかた

●湯はり予約を設定すると、予約した時刻に自動湯はりを完了します。
●一度予約設定をすると設定時刻が記憶されますので、同じ時刻に予約するとき時刻の再設定は必要ありません。
●メインリモコンを設置していない場合、湯はり予約を設定することはできません。

1 メインリモコンの 予約 を押す

「予約」が点灯し、デジタル表示の「時」が点滅しますので、おふろにはいりたい時刻を設定します。

2 ▼ 給湯温度 ▲ で「時」を合わせる

「▲」を押すと1時間ずつ進み「▼」を押すと1時間ずつ戻ります。
例）ここでは20時に合わせることで説明します。
「▲」を1回押して、「時」を「20」に合わせてください。

3 決定 を押す

デジタル表示の「時」が点灯し、「分」が点滅します。

4 ▼ 給湯温度 ▲ で「分」を合わせる

「▲」を押すと10分ずつ進み「▼」を押すと10分ずつ戻ります。

5 決定 を押す

予約時刻が点灯し、10秒後に現在時刻に切り替わります。

音声ナビでお知らせ
「湯はり予約を設定しました。」(フルナビ設定時)
「排水せんを閉めてください。」(フルナビ設定時)

湯はり予約の解除のしかた

1 メインリモコンの 予約 を2秒以上押す

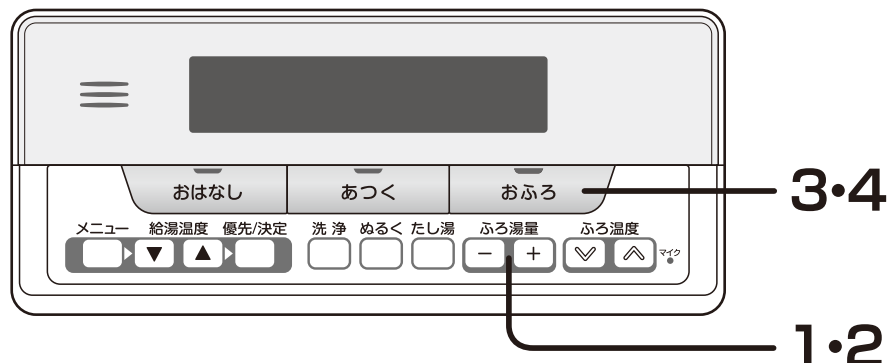
「予約」が消灯し、現在時刻に戻ります。

音声ナビでお知らせ
「湯はり予約を解除しました。」(フルナビ設定時)

お願い

●「湯はり予約」の操作は予約時刻の1時間以上前に設定してください。1時間以内の設定は予約時刻に湯はりが完了しません。
●現在時刻が正しく合っていないと、予約した時刻に湯はりができません。
●「湯はり予約」は湯はりが開始すると自動的に解除されます。
●「湯はり予約」中に「おふろ」ボタンを押すと「湯はり予約」は解除され自動湯はりを行ないます。
●「湯はり予約」は浴槽を洗浄後、排水せんを閉めて浴槽にふたをしておいてください。
●2時間以上の停電があると予約は解除されます。

おこのみの湯はり量に調節する（おこのみモード）

●「おこのみ」は、お客さまのお好きな湯量で湯はりをするときに使用します。
●「初めての湯はりのしかた」では20L刻みで設定しますが、「おこのみ」はお客さまのお好きな水位がそのまま設定できますので、大きな浴槽や湯はり量（何リットル入るか）が分からない浴槽などにご使用ください。

1 浴室リモコンの ふろ湯量 [－][＋] の [＋] を押し続け「湯はり水位表示」の1番上まで移動

2 さらに [＋] を2秒以上押す

「湯はり水位表示」が消え「おこのみ」表示が点灯

3 [おふろ] を押す

「おふろ」ランプと「おこのみ」表示が点滅し、湯はりを始めます。
湯はり量を計算するので、蛇口・シャワーで水をたさないでください。
「おふろ」ボタンを押さないまま、10秒過ぎると「おこのみ」を自動解除します。

4 おこのみの水位になったら [おふろ] を押し湯はりを止める

「おふろ」ランプ点灯後、約5分してから「おこのみ」表示が点灯します。
※湯はりを止めないとお湯はずっと出続けます。

おこのみ設定の解除のしかた

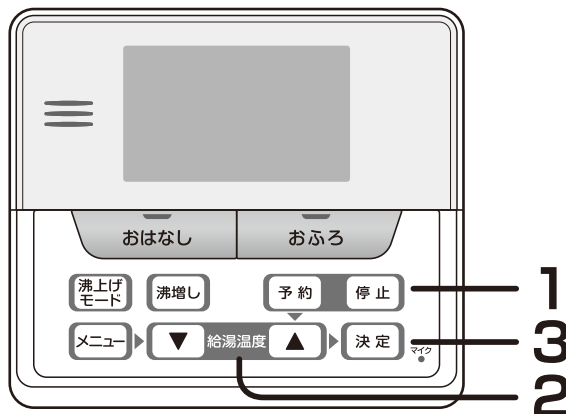
1 浴室リモコンの ふろ湯量 [－][＋] の [－] を2秒以上押す

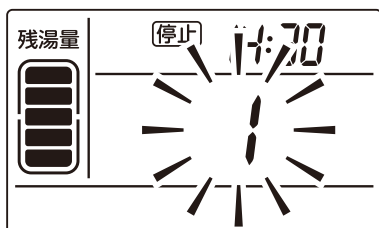
「おこのみ」表示が消灯し、4目盛りまたは2目盛りの水位に設定されます。
※初めての湯はりを行っていない場合は、湯はり水位の全目盛点滅になります。その場合は15ページの初めての湯はりの操作をしてください。

お願い

●1度設定すれば、解除するか、停電等で初期リセットがかかるまで「おこのみ」で設定した水位で湯はりします。
●設定中に停電すると、設定は解除され初期の状態に戻ります。
●必ず循環金具が隠れる位置まで湯はりを行ってください。（循環金具より上に5cm以上は湯はりしてください。）
●ふろ自動運転中は、「おこのみ」設定解除はできません。
●「おこのみ」設定で湯はりする場合には、お湯をたくさん使用する場合がありますので、残湯が全量残っている時に行ってください。

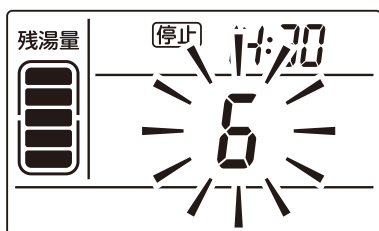
旅行などで沸上げを一時的に停止する

●旅行などで家を留守にし、お湯を使用しないときは、お湯の沸上げを停止できます。
●沸上げ停止日数は、1日から15日までと、連続停止(F)が設定できます。
●メインリモコンを設置していない場合、沸上げ停止を設定することはできません。
●「1」を設定すると当日の沸き増しも停止します。

1 メインリモコンの 停止 を押す

「停止」が点灯し、デジタル表示が点滅しますので、停止する日数を設定します。

2 ▼ 給湯温度 ▲ で沸上げ停止の日数を入力する

「▲」を押すと日数が増え「▼」を押すと日数が減ります。

停止日数の決めかた

6泊7日の旅行の場合は、出発日に停止日数「6」を入力します。
設定すると、1日経過するごとに表示日数が減っていきます。

1を設定すると、設定当日昼間の沸上げ、沸き増しを停止します。

3 決定 を押す

音声ナビでお知らせ

「停止日数を設定しました。」(フルナビ設定時)

沸上げ停止の解除のしかた

1 メインリモコンの 停止 を2秒以上押す

表示が給湯温度表示に戻ります。

音声ナビでお知らせ

「停止日数を解除しました。」(フルナビ設定時)

お願い

冬期で凍結のおそれがある場合は、凍結防止のため循環運転を行いますので、沸上げ停止を設定しないでください。

メインリモコンに反映されます

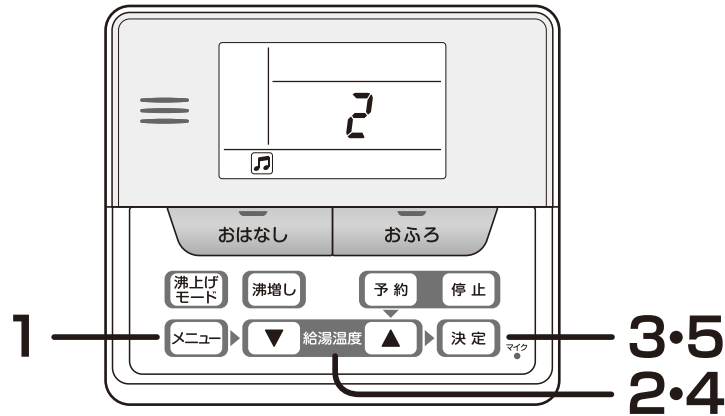
<メインリモコンで操作>

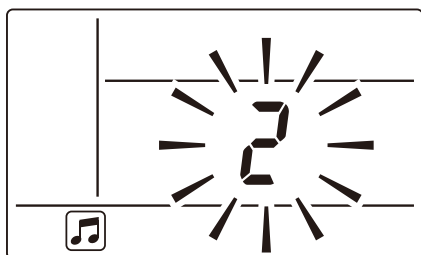
チャイムを選ぶ

●自動湯はりの終了や「おはなし」の呼出しなどに流れるチャイムを選ぶことができます。
●チャイムは3種類ありますので、その中からお好きなものをお選びください。

表示はお客さま購入時の設定です。

1 メインリモコンの メニュー を押す

時計マークが点滅

2 ▼ 給湯温度 ▲ の「▲」を1回押す

「▲」を押すと点滅が次のマークに移り「▼」を押すともとのマークに戻ります。

チャイムマークが点滅

3 決定 を押す

チャイムマークが点灯し、デジタル表示が点滅

4 ▼ 給湯温度 ▲ で1～3の中からお好みのチャイムを選ぶ

「▲」を押すと次のチャイムに進み「▼」を押すと前のチャイムに戻ります。

5 決定 を押す

選んだチャイムが鳴り決定します。

6

手順の**5**で鳴ったチャイムを変更したい場合は、もう1度「決定」ボタンを押し、手順の**4**から始めてください。

7

続けて「ナビゲーションを制限する」(35ページ)を行う場合は、「▲」を1回押しナビ制限マークが点滅するのを確認後、手順の**3**から始めてください。

通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

チャイムを選ぶ

●自動湯はりの終了や「おはなし」の呼出しなどに流れるチャイムを選ぶことができます。
チャイムは3種類ありますので、その中からお好きなものをお選びください。

表示はお客さま購入時の設定です。

1 浴室リモコンの メニュー を押す

F1が点滅し、2hが点灯

2 給湯温度 ▼ ▲ の「▲」を2回押す

F3が点滅し、2が点灯

3 優先/決定 を押す

F3が点灯し、右側のデジタル表示が点滅

4 給湯温度 ▼ ▲ で1〜3の中からお好みのチャイムを選ぶ

「▲」を押すと次のチャイムに進み「▼」を押すと前のチャイムに戻ります。

5 優先/決定 を押す

選んだチャイムが鳴り決定します。

6

手順の5で鳴ったチャイムを変更したい場合は、もう1度「優先/決定」ボタンを押し、手順の4から始めてください。

7

続けて「ナビゲーションを制限する」(36ページ)を行う場合は、「▲」を1回押し、F4が点滅するのを確認後、手順の3から始めてください。

通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

メインリモコンに反映されます

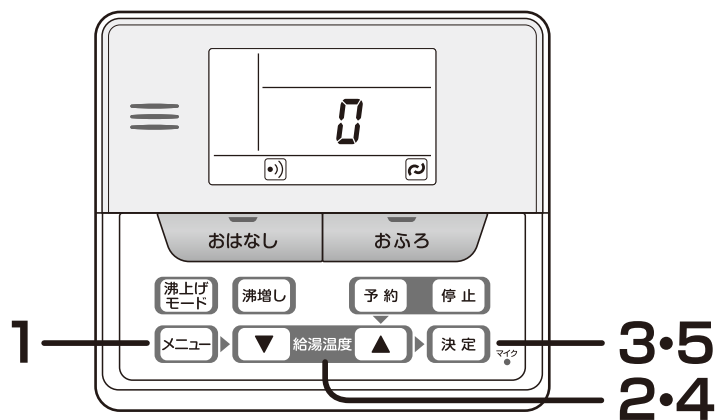
<メインリモコンで操作>

ナビゲーションを制限する

●湯はりの準備から完了までや、操作の状況を音声でお知らせするナビゲーションの内容を制限することができます。
●ナビゲーションが必要な方、そうでない方それぞれに設定ができます。

表示はお客さま購入時の設定です。

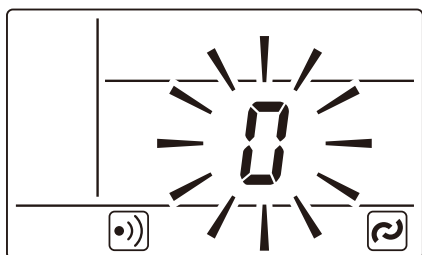
1 メインリモコンの［メニュー］を押す

時計マークが点滅

2 ［▼ 給湯温度 ▲］の「▲」を2回押す

「▲」を押すと点滅が次のマークに移り「▼」を押すともとのマークに戻ります。

ナビゲーションマークと制限マークが点滅

3 ［決定］を押す

ナビゲーションマークと制限マークが点灯し、デジタル表示が点滅します。

4 ［▼ 給湯温度 ▲］で0〜2の中からお好みの制限を選ぶ

「▲」を押すと次の制限になり「▼」を押すと前の制限に戻ります。

3段階の制限は下表のようになります。ボタンを押したときのナビゲーションの有無を表しています。

メインリモコン

ボタン名 ＼ デジタル表示	フルナビ	ナビ1	ナビ2
	0	1	2
おふろ	○	○	湯はり終了チャイム
給湯温度	○	○	
沸上げモード	○		
沸増し	○		
予約	○		
停止	○		
エラー音	○	○	○

※給湯温度を高温にしたときの「高温にご注意ください。」のナビゲーションはすべての制限にはいります。
※操作の手順により、ナビゲーションが省略される場合があります。

5 ［決定］を押す

6

続けて「ナビゲーションの音量を調節する」（37ページ）を行う場合は、「▲」を1回押し、ナビゲーションマークとレベルマークが点滅するのを確認後、手順の**3**から始めてください。

通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

ナビゲーションを制限する

●湯はりの準備から完了までや、操作の状況を音声でお知らせするナビゲーションの内容を制限することができます。
●ナビゲーションが必要な方、そうでない方それぞれに設定ができます。

表示はお客さま購入時の設定です。

1 浴室リモコンの メニュー を押す

F1が点滅し、2hが点灯

2 給湯温度 の「▲」を3回押す

F4が点滅し、0が点灯

3 優先/決定 を押す

F4が点灯し、右側のデジタル表示が点滅

4 給湯温度 ▼ ▲ で0～2の中からお好みの制限を選ぶ

「▲」を押すと次の制限になり「▼」を押すと前の制限に戻ります。

3段階の制限は下表のようになります。ボタンを押したときのナビゲーションの有無を表しています。

浴室リモコン

ボタン名 ＼ デジタル表示	フルナビ 0	ナビ1 1	ナビ2 2
おふろ	○	○	湯はり終了チャイム
あつく	○	○	「高温にご注意ください。」
給湯温度	○	○	
たし湯	○		
ぬるく	○		
優先/決定	○	○	
洗 浄	○		
エラー音	○	○	○
給湯ナビ音	○		

※給湯温度を高温にしたときの「高温にご注意ください。」のナビゲーションはすべての制限にはいります。
※操作の手順により、ナビゲーションが省略される場合があります。

5 優先/決定 を押す

6

続けて「ナビゲーションの音量を調節する」(38ページ)を行う場合は、「▲」を1回押し、F5が点滅するのを確認後、手順の3から始めてください。

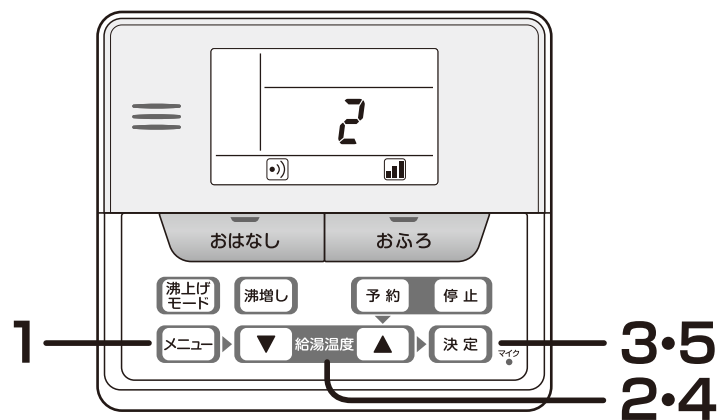
通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

メインリモコンに反映されます

<メインリモコンで操作>

ナビゲーションの音量を調節する

●ナビゲーションの音量をメインリモコン・浴室リモコンと個々に調節することができます。

表示はお客さま購入時の設定です。

1 メインリモコンの［メニュー］を押す

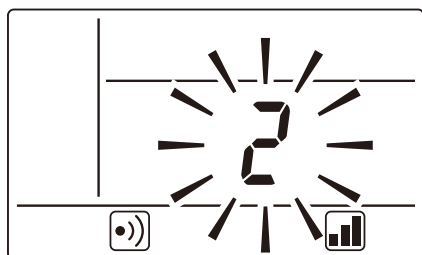
時計マークが点滅

2 ［▼ 給湯温度 ▲］の「▲」を3回押す

「▲」を押すと点滅が次のマークに移り「▼」を押すともとのマークに戻ります。

ナビゲーションマークとレベルマークが点滅

3 ［決定］を押す

ナビゲーションマークとレベルマークが点灯し、デジタル表示が点滅します。

4 ［▼ 給湯温度 ▲］で0～3の中からお好みの音量を選ぶ

「▲」を押すと次の音量になり「▼」を押すと前の音量に戻ります。

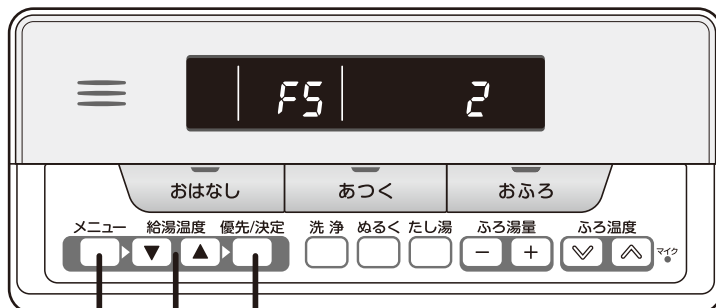
デジタル表示	内　容
0	ナビゲーションなし
1	「音量」は最小
2	「音量」は標準
3	「音量」は最大

5 ［決定］を押す

6 続けて「おはなしの音量を調節する」(39ページ)を行う場合は、「▲」を1回押し、おはなしマークとレベルマークが点滅するのを確認後、手順の3から始めてください。

通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

●ナビゲーションの音量を浴室リモコン・メインリモコンと個々に調節することができます。

表示はお客さま購入時の設定です。

1 浴室リモコンの メニュー を押す

F1が点滅し、2hが点灯

2 給湯温度 の「▲」を4回押す

F5が点滅し、2が点灯

3 優先/決定 を押す

F5が点灯し、右側のデジタル表示が点滅

4 給湯温度 ▼ ▲ で0〜3の中から

お好みの音量を選ぶ

「▲」を押すと次の音量になり「▼」を押すと前の音量に戻ります。

デジタル表示	内 容
0	ナビゲーションなし
1	「音声」は最小
2	「音声」は標準
3	「音声」は最大

5 優先/決定 を押す

6 続けて「おはなしの音量を調節する」(40ページ)を行う場合は、「▲」を1回押し、F6が点滅するのを確認後、手順の**3**から始めてください。

通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

メ モ

●設定を“ナビゲーションなし”にしてもブザー音は消えません。

メインリモコンに反映されます

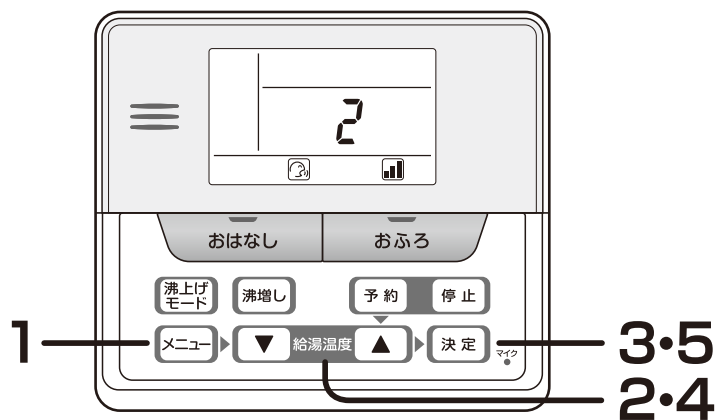
<メインリモコンで操作>

おはなしの音量を調節する

●「おはなし」ボタンを押して使用するインターホンの音量（相手側から聞こえる音声の大きさ）を、メインリモコン・浴室リモコンと別々に調節することができます。

表示はお客さま購入時の設定です。

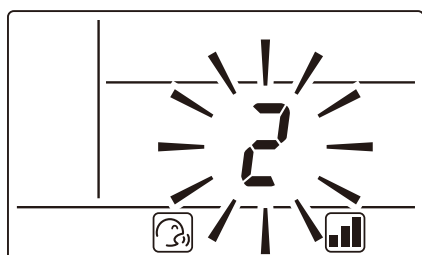
1 メインリモコンの［メニュー］を押す

時計マークが点滅

2 ［▼ 給湯温度 ▲］の「▲」を4回押す

「▲」を押すと点滅が次のマークに移り「▼」を押すともとのマークに戻ります。

おはなしマークとレベルマークが点滅

3 ［決定］を押す

おはなしマークとレベルマークが点灯し、デジタル表示が点滅します。

4 ［▼ 給湯温度 ▲］で1～3の中からお好みの音量を選ぶ

「▲」を押すと次の音量になり「▼」を押すと前の音量に戻ります。

デジタル表示	内　容
1	「音量」は最小
2	「音量」は標準
3	「音量」は最大

5 ［決定］を押す

6 続けて「タンク湯温を表示する」（41ページ）を行う場合は、「▲」を1回押せばタンク湯温を表示します。

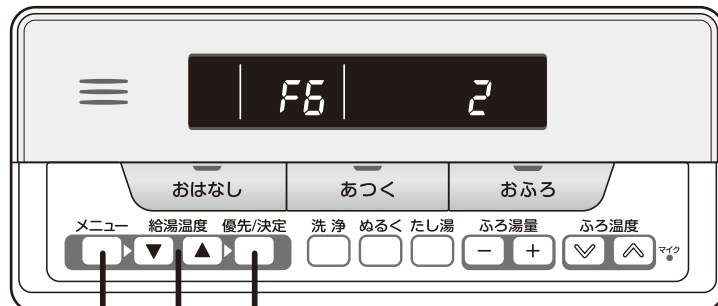
通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

浴室リモコンに反映されます

<浴室リモコンで操作>

おはなしの音量を調節する

●メインリモコンを使用のお客さまが設定できます。浴室リモコンのみで使用のお客さまは設定できません。
●「おはなし」ボタンを押して使用するインターホンの音量（相手側から聞こえる音声の大きさ）を、メインリモコン・浴室リモコンと個々に調節することができます。

表示はお客さま購入時の設定です。

1 浴室リモコンの メニュー を押す

F1が点滅し、2hが点灯

2 給湯温度 の「▲」を5回押す

F6が点滅し、2が点灯

3 優先/決定 を押す

F6が点灯し、右側のデジタル表示が点滅

4 給湯温度 ▼ ▲ で1～3の中からお好みの音量を選ぶ

「▲」を押すと次の音量になり「▼」を押すと前の音量に戻ります。

デジタル表示	内　容
1	「音量」は最小
2	「音量」は標準
3	「音量」は最大

5 優先/決定 を押す

6 続けて「タンク湯温を表示する」（42ページ）を行う場合は、「▲」を1回押せばタンク湯温を表示します。

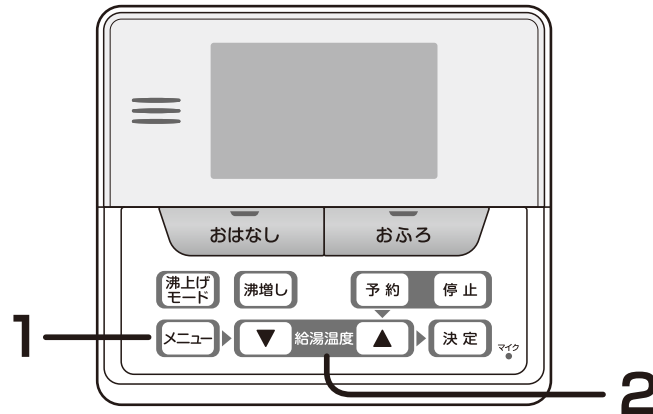
通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

タンク湯温を表示する

●タンク内のお湯の温度を確認できます。ただし、蛇口から出てくる温度と異なります。
●外気温度が低い場合は、表示温度が低くなることがあります。

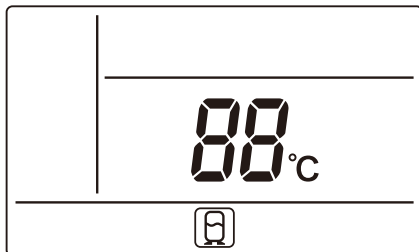
使用湯量を表示する

●深夜2:00から現在までのお湯の使用量を確認できます。

タンク湯温を表示する

1 メインリモコンの メニュー を押す

時計マークが点滅

2 ▼ 給湯温度 ▲ の「▲」を5回押す

「▲」を押すと点滅が次のマークに移り「▼」を押すともとのマークに戻ります。

タンク湯温マークが点灯し、タンク内のお湯の温度を表示します。

3 続けて**次の「使用湯量を表示する」**を行う場合は「▲」を1回押せば使用湯量を表示します。
通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

メモ

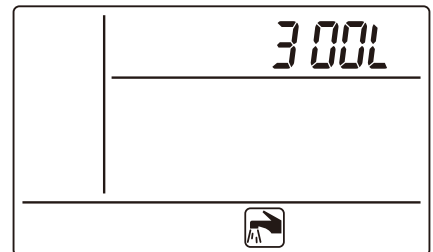
●湯温はタンク上部にあるセンサーが検知します。前日の残り湯が多い場合には表示温度が低くなることがあります。
●タンク湯温表示後は、約10秒で給湯温度の表示に戻ります。

使用湯量を表示する

1 メインリモコンの メニュー を押す

時計マークが点滅

2 ▼ 給湯温度 ▲ の「▲」を6回押す

「▲」を押すと点滅が次のマークに移り「▼」を押すともとのマークに戻ります。

使用湯量マークが点灯し、お湯の使用量を10L刻みに表示します。

3 通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

メモ

●使用湯量は使用したお湯の量を、42℃換算にした量です。
●使用湯量表示後は、約10秒で給湯温度の表示に戻ります。

タンク湯温を表示する

●タンク内のお湯の温度を確認できます。ただし、蛇口から出てくる温度と異なります。
●外気温度が低い場合は、表示温度が低くなることがあります。

1 浴室リモコンの メニュー を押す

F1が点滅し、2hが点灯

2 給湯温度 ▼ ▲ の「▲」を**6**回押す

F7が点灯し、タンク内のお湯の温度を表示

3 続けて次の「使用湯量を表示する」を行う場合は、「▲」を1回押せば使用湯量を表示します。

通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

メ モ

●湯温はタンク上部にあるセンサーが検知します。前日の残り湯が多い場合には表示温度が低くなることがあります。
●タンク湯温表示後は、約10秒で給湯温度の表示に戻ります。

使用湯量を表示する

●深夜2:00からのお湯の使用量を確認できます。

1 浴室リモコンの メニュー を押す

F1が点滅し2hが点灯

2 給湯温度 ▼ ▲ の「▲」を**7**回押す

F8が点灯し、使用湯量を表示

3 通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

メ モ

●使用湯量は使用したお湯の量を、42℃換算にした量です。
●使用湯量表示後は、約10秒で給湯温度の表示に戻ります。
●990Lを超える使用湯量は「FFOL」が表示され、実際の使用量は表示されません。

非常時のお湯（水）のとりかた

●万一の災害による断水時にタンクのお湯（水）を生活用水として利用できます。
●非常時以外は使用しないでください。

⚠警告

手をふれない

非常用水は、熱湯が出るおそれがあります。やけどに注意する
最初は水が出てきますが、熱湯が出てくることがあります。

手をふれない

非常用水の採水時はヒートポンプ口本体に手を触れない
本体が熱くなりやけどをすることがあります。

⚠注意

飲用禁止

飲用しない
水質が変化した場合、下痢、腹痛など体をこわすことがあります。

1.非常用水の取りかた

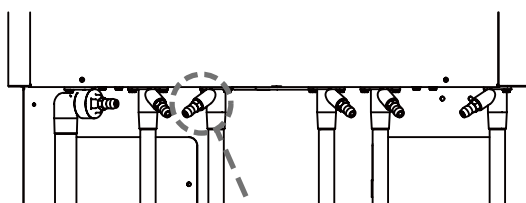
1 漏電遮断器のレバーを「切」にする
漏電遮断器は電源ボックスカバーの中にあります。

2 専用止水せんを閉じる

3 逃し弁レバーを立てて、逃し弁を開く
逃し弁は逃し弁点検扉の中にあります。

4 ヒートポンプ口ドレンせんを開きお湯（水）を出す
開いてすぐは汚れた水がでますので、きれいになってからご使用ください。

5 使用後はヒートポンプ口ドレンせんを閉じる

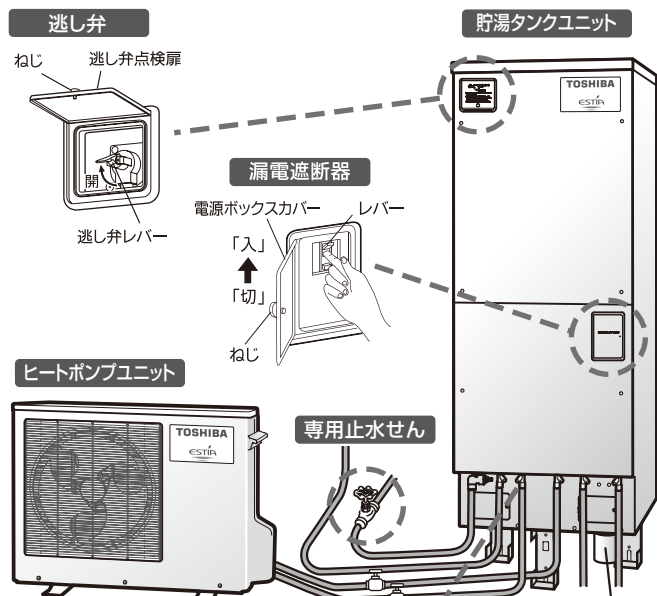
6 逃し弁レバーを戻す
逃し弁は逃し弁点検扉の中にあります。

2.通常運転への戻しかた

1 逃し弁レバーを立てて、逃し弁を開く

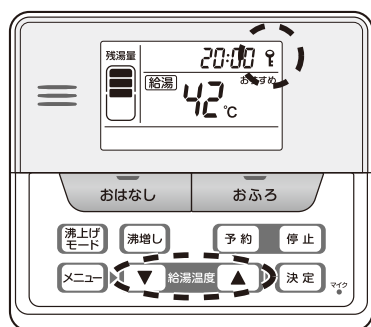
2 専用止水せんを開く

3 排水トラップに水が出てきたら、逃し弁レバーを戻す
見えないときは、水の音で確認してください。

4 漏電遮断器のレバーを「入」にする

5 リモコンで現在時刻を合わせる
13～14ページをご覧ください。

●ご使用のあとは必ず、電源ボックスカバー、逃し弁点検扉を閉じて、ねじを確実にしめてください。

リモコンのロックのしかた

●お子さまなどリモコンをいたずらに操作されないよう、それぞれのリモコンでボタン操作のロックができます。
●ボタン操作のロック中は、画面にロック表示(カギマーク)が点灯します。

給湯温度の「▼」と「▲」を同時に2秒間押すことにより、ボタン操作の「ロック」と「ロックの解除」を交互におこなうことができます。

お願いとお知らせ

お湯は大切に上手に使いましょう。

●お風呂のふたは
浴槽には冷めやすいものもあります。
入浴後はふたをしてください。

●浴槽の「排水せん」の確認を忘れずに
湯はりするときは必ず浴槽の「排水せん」をしてください。
湯はりができず湯切れの原因になります。

●浴槽のお湯を排水するときは
必ず「ふろ自動運転」を解除してから浴槽のせんを抜いてください。
異常表示がでます。

●来客があるときは
必要に応じて、「沸増し」をしてください。

●入浴時間は
夜間の通電時間前(23:00前)にすませるようにしてください。
通電時間中(23:00～7:00)にお湯をたくさん使用すると、翌日に湯量が不足します。
※夜間時間帯は電力契約により異なります。

●湯はりはお湯が沸いてから
湯はりをする場合は、残湯量表示が3つ以上あることを確認してください。

●「あつく」ボタンはお湯があるときに
タンク内の湯が設定温度以上でないと、「あつく」を押しても、あつくならないことがあります。

■入浴剤･洗剤などの使用について

●硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、機器が腐食したり故障する原因となるものがありますので、使用しないでください。

●次の入浴剤は使用しないでください。
･浴槽に沈殿物(にごり成分)が残るもの
･ミルクやミルク成分が入っているもの
･生薬(固形のもの)
･浴槽内でのせっけんの使用

■浴槽やタイルの目地の青い付着物

●配管が新しいと青い付着物がつくことがあります。これは、水中に含まれる銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応しできるもので、毒性や健康への害はまったくありません。通水(通湯)の繰り返しで発生しにくくなります。

●市販の台所の油汚れ専用洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。
〈油汚れ専用洗剤〉
速効湯アカ分解 株式会社リンレイ
マジックリン 花王株式会社

長期間ご使用にならないとき

●通水確認後や使用開始後、外気温が凍結温度まで下がるような時期に、長期間お使いにならないときは、下記の手順にしたがって、各部の排水および水抜きを行ってください。
●長期間お使いにならないと、タンクの水は変質するおそれがありますので、必ずすべて排水してください。
●タンク内のお湯を排水する場合には排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきった後、水になってから排水してください。

1.排水・水抜き方法

1 漏電遮断器のレバーを「切」にする
漏電遮断器は電源ボックスカバーの中にあります。

2 専用止水せんを閉じる

3 逃し弁レバーを立てて、逃し弁を開く
逃し弁は逃し弁点検扉の中にあります。

4 排水せんを開く
排水せんは排水点検扉の中にあります。
約40分～60分で水が抜けます。
熱湯が出るのでご注意ください。

5 貯湯タンクユニット8カ所、ヒートポンプユニット2カ所のドレンせんを開く
右の図を参照してください。
熱湯が出るときがありますのでご注意ください。

6 漏電遮断器のレバーを「入」にする

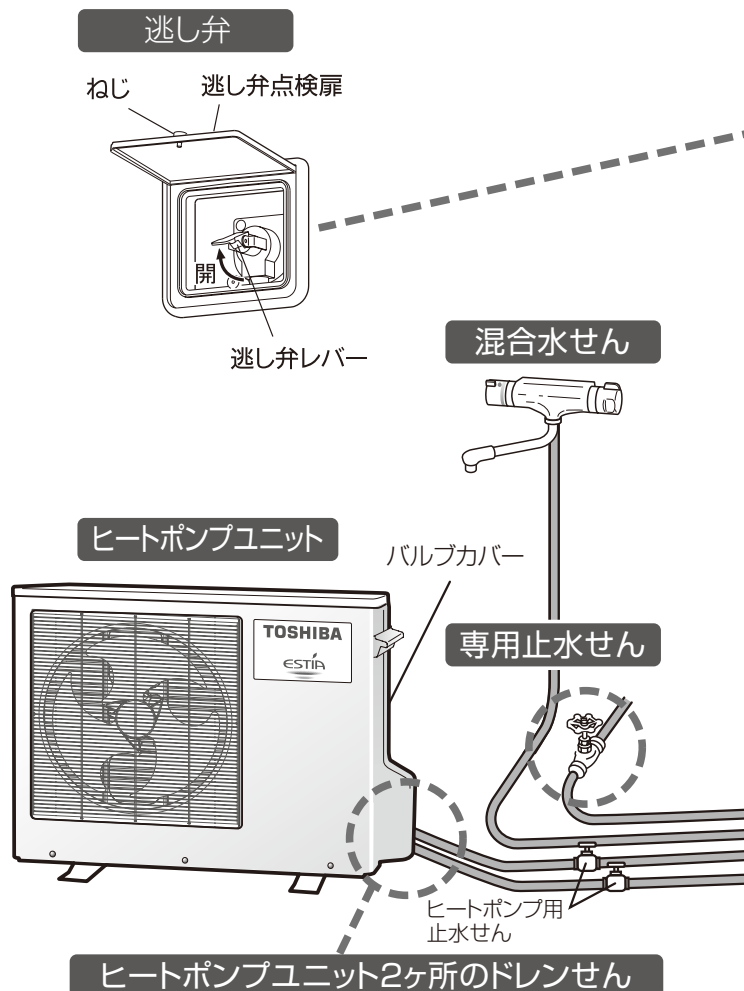
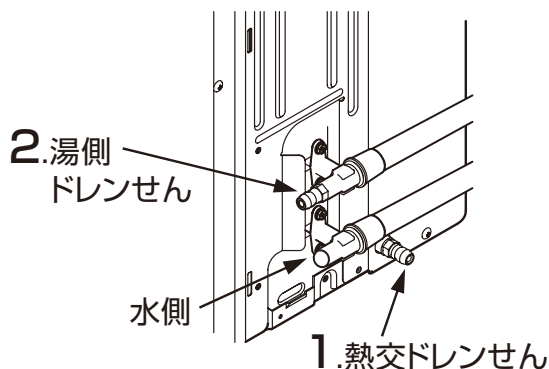
7 浴室リモコンの3つのボタンを「優先/決定」「おはなし」「メニュー」の順番で、同時に3秒以上押す
これを1分後にもう1度行います。

8 漏電遮断器のレバーを「切」にする
専用止水せんは次にご使用するときまで、閉じたままにしてください。

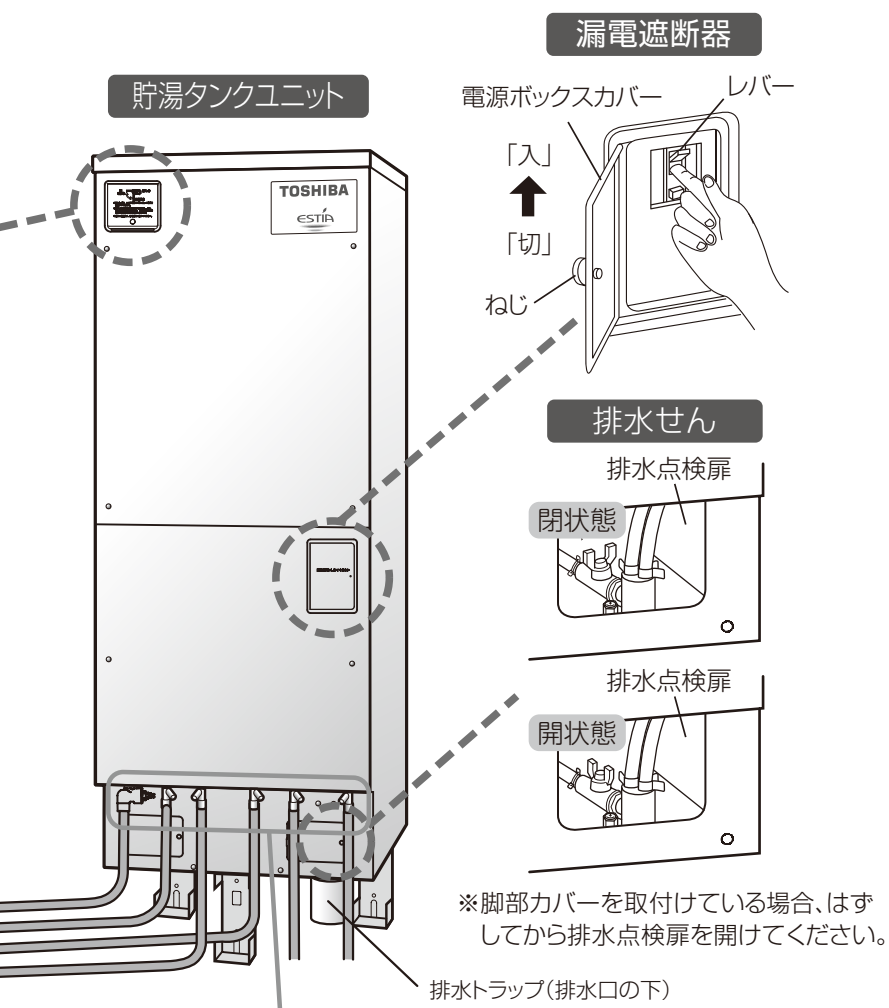
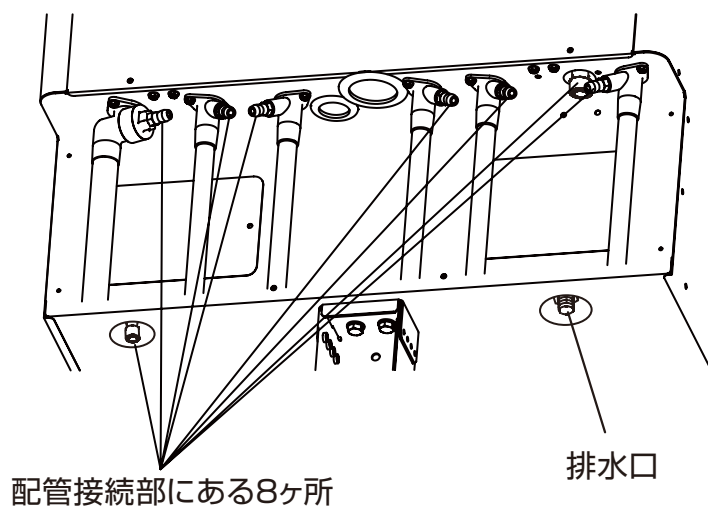
9 貯湯タンクユニット8カ所、ヒートポンプユニット2カ所のドレンせんを閉じる
右の図を参照してください。

10 逃し弁レバーを戻して逃し弁を閉じる

お願い

●ご使用のあとは必ず、電源ボックスカバー・逃し弁点検扉・排水点検扉の扉を閉じて、ねじを確実に締めてください。

ドレンせんを開くときは、下図の番号順に開いていきます。

ヒートポンプユニット2カ所のドレンせんは、バルブカバー内にあります。

<バルブカバーのはずしかた>
バルブカバーを止めているねじ(3ヶ)を外し、下方へスライドさせ、ツメ(2ヵ所)をはずし手前に引きます。

※脚部カバーを取付けている場合、はずしてから排水点検扉を開けてください。

2.ふたたび使用するとき

1 逃し弁レバーを立てて、逃し弁を開く

逃し弁は逃し弁点検扉の中にあります。

2 専用止水せんを開く

約20分～40分で満水となり排水トラップに水が出てきます。（見えないときは音で確認）

3 満水になったら逃し弁レバーを戻して逃し弁を閉じる

4 漏電遮断器のレバーを「入」にする

ポンプが約3分間断続運転します。

5 リモコンで現在時刻を合わせる

13～14ページをご覧ください。

以上で再使用が可能になります。

貯湯タンクユニット8ヶ所のドレンせん

お願い

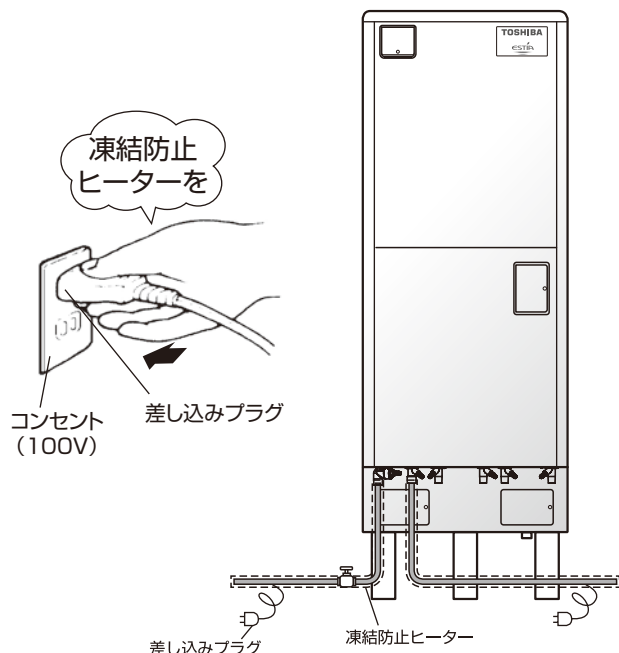
●ご使用のあとは必ず、電源ボックスカバー･逃し弁点検扉･排水点検扉の扉を閉じて、ねじを確実にしめてください。

凍結防止について

●凍結により配管等が破損するおそれがありますので、凍結が予想される時期は以下の方法で対応してください。

1.凍結防止ヒーターによる方法

●気温がマイナス5℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので工事説明書どおりの凍結防止ヒーターによる保温工事をしてください。

●水が凍る時期になりましたら、全ての配管の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを100ボルトのコンセントに差し込んでください。また、凍結の心配のない時期になりましたら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

2.ヒートポンプ配管の凍結防止

●外気温度が下がると、循環ポンプが運転します。さらに温度が下がると沸上げモードに関係なくヒートポンプユニットを自動的に運転して、ヒートポンプ配管の凍結を防止します。

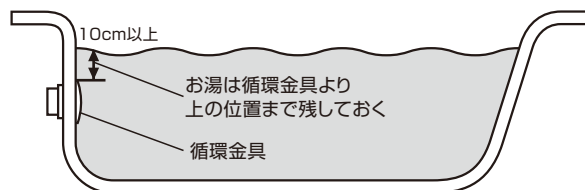
お願い

●電源は「入」のままにしてください。通電していないと凍結防止のための循環ができません。

3.浴槽にお湯を残す方法

●外気温度が下がると、ふろ循環ポンプにより浴槽に残ったお湯を循環させて凍結を防止します。

お願い

●浴槽に必ずお湯を残してください。お湯がないと凍結防止のための循環ができません。
●循環路の凍結防止工事が確実にされている場合は、浴槽のお湯を抜いても問題ありません。(貯湯タンクユニット内は凍結防止ヒーター付きです。)
●電源は通電したままにしてください。通電していないと凍結防止のための循環ができません。

お願い

●中間期(初冬・初春)でも外気温度により、ふろ循環ポンプが動作することがありますが異常ではありません。
●浴槽にお湯を残してない場合でも、外気温度が下がるとふろ循環ポンプが動作し、循環金具からお湯(水)が出ることがありますが異常ではありません。

4.粉雪対応運転について(寒冷地向けのみ)

●ヒートポンプユニットは、停止中も外気温によりファンを運転することがあります。

安全点検・お手入れのしかた

■事故を防止するために下記の安全点検を必ず行ってください。

■安全点検

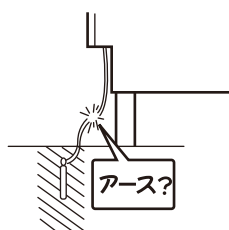
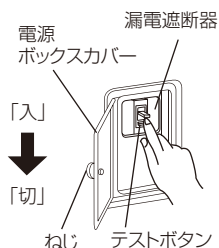
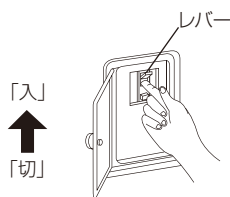
1.漏電遮断器の動作を確認

⚠警告

漏電遮断器の動作を確認する

漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のとき感電の原因になります。

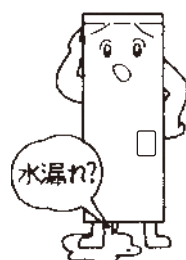
漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。
年に2～3回は漏電遮断器の動作確認を通電時間内に、つぎのように確認してください。

1 アース線が途中で切れていないかどうか確認してください。

2 電源ボックスカバーをあけて、テストボタンを押してください。漏電遮断器のレバーが「切」になれば、正常です。

3 テストのあとは、必ずレバーを「入」にもどし、電源ボックスカバーを閉じて確実にねじを締めてください。

2.水漏れの点検

⚠注意

水漏れを点検する

特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。
日常確認してください。

1 貯湯タンクユニットを設置した床面に水が漏れていないか確認してください。

3.気温が低いときには凍結防止の確認

⚠注意

凍結防止対策を確認する

配管が破損してやけどをすることがあります。

1 気温がマイナス5℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので工事説明書どおりの保温工事をしてください。

2 水が凍るような時期になりましたら、図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを、100ボルトのコンセントに差し込んでください。また、凍結の心配のない時期になりましたら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

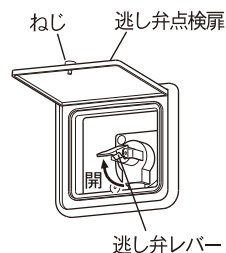
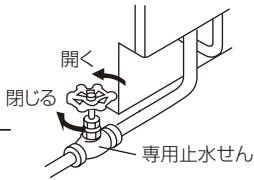
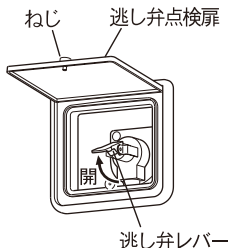
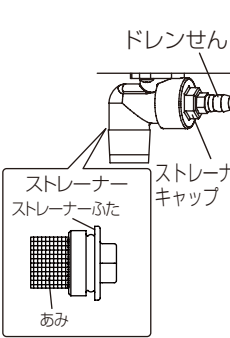
4.逃し弁の動作を確認

⚠警告

逃し弁点検時には、排水管に手を触れない

やけどをすることがあります。

年に2～3回は、逃し弁のレバーを立てて動作確認をしてください。

1 レバーを立てたとき排水し、戻したとき排水が止まれば正常です。（排水が確認できないときは、水の音で排水されたことを確認してください。）

- 逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、逃し管より常にお湯が流れ出て、湯量不足の原因となります。
- 逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを守る安全装置です。
  逃し弁が正常に動作しないと、タンクが変形し水漏れや故障の原因になります。
- 逃し弁は高い位置についていますので、脚立などを使用し転倒しないよう十分注意してから点検を行ってください。

安全点検・お手入れのしかた（つづき）

■お手入れのしかた

1.ストレーナーの掃除

湯および水の出が悪くなったときは、減圧弁のストレーナーの掃除が必要です。
ストレーナーの掃除を行うときは次の手順に従って行ってください

1 専用止水せんを閉じます。

2 機器の配線用遮断器（ブレーカー）を「切」にします。

3 脚部カバーを取付けている場合は、はずします。

4 逃し弁レバーを立てて逃し弁を開け、約1分間タンク内の圧力を抜きます。

5 貯湯タンクユニット下部にある給水口のストレーナーをはずし、あみを掃除します。（ドレンせんをゆるめ、配管内に残っている水を抜きます。モンキーレンチ等でストレーナーキャップをはずし、水を流しながらブラシ等でよく洗います。）

6 ストレーナーキャップを組み込み、モンキーレンチ等で締め付けた後、専用止水せんを開きます。水漏れがないことを確認してください。

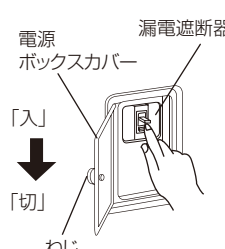
7 機器用の配線用遮断器（ブレーカー）を「入」にします。

2.長期間お使いにならないとき

⚠注意

1ヶ月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をする
水質が変化することがあります。

タンク内のお湯を排水する場合には排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきった後、水になってから排水してください。
「排水のしかた」は45ページをご覧ください。

再びご使用になるときは、46ページの「ふたたび使用するとき」によりタンクが満水になったことを確かめてから、通電準備をしてください。
翌日ご使用になるときは、給湯せんから配管内の空気と蒸気が最初に出ますので、やけどに注意してください。

3.タンク内の清掃

⚠注意

タンクの熱湯排水は直接しない
やけどをすることがあります。

使用しているうちに水アカや沈殿物がタンクの底にたまります。きれいなお湯をお使いいただくために、必ず年に2～3回は次の手順で排水口から水アカなどを出してください。
タンク内の掃除をするときは、1度湯はりをした後に行ってください。（タンク下部に給水されることにより排水口から熱湯が出ることを防ぎます）

1 電源ボックスカバーを開け、漏電遮断器のレバーを「切」にします。

2 専用止水せんを閉じます。

3 排水点検扉開け、排水せんを開きます。

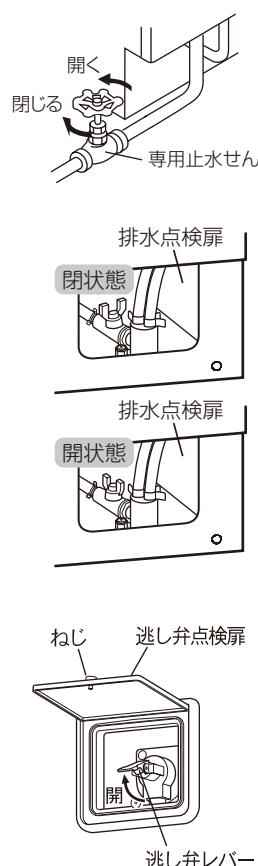
4 逃し弁点検扉を開け、逃し弁レバーを立てて、約2分間逃し弁を開きます。

5 よごれた水がきれいな水にかわったら排水せんを閉じ、排水点検扉を閉めます。
※お湯が出てくることがありますのでご注意ください。

6 排水が終わりましたら、専用止水せんを開きます。

7 排水トラップに水が出てくるまで逃し弁を開きます。
（見えないときは音で確認してください）

8 漏電遮断器のレバーを「入」にします。

<45 ～ 46 ページの図を見ながら進めてください>

4.断水や近くで水道工事が行われるとき

工事が行われる前に専用止水せんを閉じてください。
濁った水がストレーナーに目詰まりし湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
断水が解除されたら専用止水せんを開いて、水がきれいになったのを確かめてから機器を使用してください。

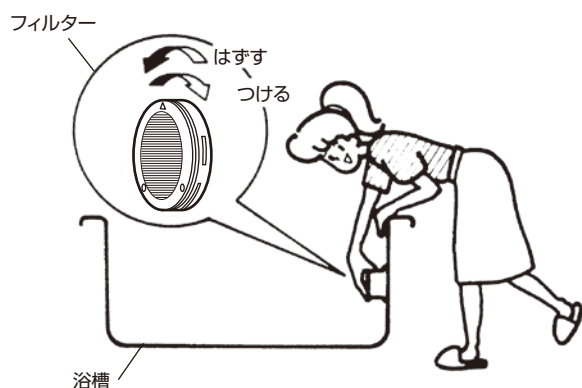
5.過圧防止弁について

過圧防止弁排水口より湯（水）が漏れている場合（貯湯タンクユニットの据付場所がぬれている等）は、配管システムまたは機器に異常があります。
漏電遮断器のレバーをさげて電源を「切」にし、専用止水せんを閉じてお使いになるのをやめてください。
お買い上げの販売店に連絡をして修理を受けてください。

6.リモコンの掃除のしかた

リモコンの表面が汚れたときは水に濡らしたやわらかい布をかたくしぼって、軽く拭き取ってください。
リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。
※洗剤およびシンナー・ベンジン・アルコール等は使用しないでください。

7.循環金具の掃除のしかた

浴槽内のフィルターをはずし、1週間に1回程度掃除をしてください。フィルターが目詰まりすると、正常な湯はり・ふろ自動運転ができず、エラーが出ることがあります。
掃除後はフィルターを確実に取り付けてください。
フィルターを付けずに使用しますと、故障の原因となります。

■定期点検（有料）

定期点検

本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4年に1回の定期点検をおすすめします。
点検費用については、販売店にご相談ください。
※定期点検で見つかった不具合部品は、保証期間中は無料でおとりかえします。（消耗部品は除く）

定期点検の主な内容

●据付状態の点検
貯湯タンクユニット設置面、配管状態（断熱処理等）、電気配線、アースなどの確認、ヒートポンプユニットの据付状態、システムの水漏れ確認

●部品の点検
貯湯タンクユニット弁類（減圧弁、逃し弁、ミキシングバルブ）、電気部品（制御基板）、ポンプ、逆流防止装置の点検
ヒートポンプユニット電気部品（制御基板）、圧縮機の点検

●清掃
タンク内の清掃、貯湯タンクユニットのストレーナーの清掃

消耗部品・劣化しやすい部品

- ●減圧弁
- ●逃し弁
- ●ミキシングバルブ
- ●電磁弁
- ●ポンプ
- ●三方弁
- ●水位センサ
- ●銀イオン発生ユニット

※部品交換時は、当社純正部品をご指定ください。

5年保証に関する免責事項

56ページに5年保証に関する免責事項が記載してあります。
大変重要な内容ですので、必ずお読みください。

故障かな?（こんな表示がでたら）

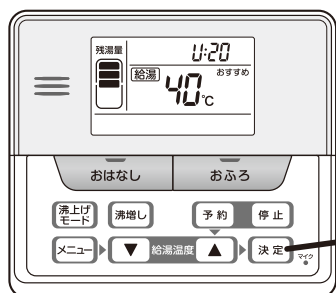
●エラー表示は、ご使用のリモコンすべてに表示されます。
●エラー表示がでているときは、まずエラーの解除をしてください。また下の表に基づいて処置をしてください。エラー表示が消えればそのまま使用できます。
●下の表以外のエラー表示やエラー解除をしても再度同じエラーが出るとき、下の表に基づいて処置をしてもエラーがでるときは、お買い上げの販売店または、東芝電気給湯機ご相談センターにご相談ください。

エラー表示	現象･原因	お湯の沸上げ	自動湯はり	エラーの手動解除	エラーの自動解除	処置方法
U:20	● 湯はりをするとき、浴槽のせんをし忘れた。 ● 「おふろ」ボタンのランプが点灯中に、浴槽のせんを抜いた。(循環検知のエラー) ● 長期間「洗浄2」を行っていない。	○	×	○	×	リモコンでエラー解除してください。浴槽のせんがしてあった場合は「洗浄2」を行ってください。
U:22	● リモコンの残湯表示がないときに「おふろ」ボタンを押した。 ● 「おふろ」ボタンのランプが点灯中に、お湯を使いすぎ、リモコンの残湯表示がなくなった。	○	×	○	○	リモコンでエラー解除をしてから「沸増し」設定をして、リモコンの残湯表示が「2/5」以上になってから再操作してください。
U:23	● 浴槽にお湯(水)が残ったまま「おこのみ」で湯はり量を設定してしまった。 ● 浴槽の残り湯の温度が低いのに湯はりをした。(「おすすめ」設定のとき)	○	×	○	×	浴槽のお湯(水)を排水して、リモコンでエラーを解除してから、再度湯はりをしてください。
U:27	● 給湯機の専用止水せんが完全に開いていないか、断水や配管の凍結により給水されず、「おふろ」ボタンを押して約60分過ぎても設定水位まで湯はりができない。	○	×	○	×	給湯機の専用止水せんが全開になっているか、断水や配管が凍結しているか確認してください。上記改善後、リモコンでエラー解除してください。
E:25	● 「おふろ」ボタンのランプが点灯中に、浴槽のせんを抜いた。(水位検知のエラー)	○	×	○	×	リモコンでエラー解除してください。
E:UP	● 銀イオンが消耗しました。	○	○	×	×	お買い上げの販売店または、東芝電気給湯機ご相談センターに交換(有料)をご依頼ください。
H: 1	● 給湯機の専用止水せんが完全に開いていないか、断水や配管の凍結により給水されないまま、「おふろ」ボタンを押した。	○	×	○	×	給湯機の専用止水せんが全開になっているか、断水や配管が凍結しているか確認してください。上記改善後、リモコンでエラー解除してください。

(○:できる、×:できない)

(エラー解除)

※エラー解除は、ご使用のリモコンすべてで行えます。
●エラーには解除できるものとできないものがあります。解除できるものは上の表で説明しているエラーです。
●リモコンの表示部にエラーが表示されたときは、手順にしたがって解除してください。

メインリモコンで解除するとき

決定を2秒間押す

浴室リモコンで解除するとき

優先/決定を2秒間押す

(このようなときは)

修理を依頼される前につぎのことを点検してください。

症　　状	点検するところ	対処方法
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	●給水圧が低くないですか。	●水圧の確認を水道局へ依頼してください。
	●専用止水せんは開いていますか。	●専用止水せんが閉じていたら、開いてください。
	●断水ではありませんか。	●水道局へ問い合わせてください。 （断水が終わるまで待ってください）
	●ストレーナーが詰まっていませんか。	●49ページの「ストレーナーの掃除」によりお手入れをしてください。
	●配管部分が凍結していませんか。	●お買い上げの販売店にご相談ください。
お湯が沸かない。	●配線用遮断器（ブレーカー）が「切」になっていませんか。 ●漏電遮断器のレバーが「切」になっていませんか。	●「切」になっているときは「入」にしてください。 ※2度、3度と「切」になる場合は故障のおそれがありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
	●リモコンの現在時刻が正しく設定されていますか。	●現在時刻が正しく設定されていないとお湯が沸上がりません。 ●13〜14ページの「現在時刻の合わせかた」をご覧いただき、設定してください。
	●「沸上げ停止」を設定していませんか。	●32ページの「旅行などで沸上げを一時的に停止する」により、沸上げ停止を解除してください。
お湯が足りない。	●夜間時間帯にお湯をたくさん使用したり、ふろ自動運転をしたりしませんでしたか。 ●いつもにくらべてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	●沸上がるまでお待ちになるか、27ページの「沸増しのしかた」により、沸増ししてください。 ※この製品は貯湯式ですので、一度に使用できる湯量に限りがあります。「使用湯量」を確認して、多い場合には節約をお願いします。
	●沸上げモードは「おすすめ」モードですか。	●設置後1週間以上足りない日が続いた場合は、沸上げモードを上のランクへ切替えてお使いください。（「たっぷり」に）
	●浴槽の前日の残り湯を追いだきしましたか。	●追いだきはタンク内の熱量を消費しますので、特に冬期などの寒い時期は沸上げモードを「たっぷり」へ切替えてお使いください。
	●昼間など沸上げていないときに、逃し弁の逃し管からお湯が流れていませんか。 ※沸増し中は昼間でも逃し弁から膨張水が排水されます。	●48ページの「逃し弁の動作を確認」により、逃し弁の動作確認をしてください。 ●お湯が止まらないときは、逃し弁の交換を依頼してください。
お湯がぬるい。	●リモコン給湯温度設定が低くありませんか。 ●混合水せんの温度設定が低くありませんか。	●リモコンの給湯温度設定を混合水せんの温度設定より約１０℃高く設定してください。 ●それでも湯温が上がらない場合は、混合水せんのメーカーに点検を依頼してください。
	●タンク内水温が高くありませんか。	●水温がいちじるしく高い場合には設定温度まで沸上げることができません。
お湯や水を止めると異音がする。	●ウォーターハンマー現象ではないですか。 ※ウォーターハンマー現象とは、お湯（水）の流れを急に止めるシングルレバータイプの水栓に起こりやすい現象です。	●お買い上げの販売店にご相談ください。
お湯から油が出たり臭いがする。	●設置後、初めてのご使用ですか。	●設置後、初めてお湯を使用するときは、配管工事の際の油や臭いがお湯に混ざって出る場合があります。 しばらく使用すると徐々に無くなります。

このようなときは（つづき）

症　　状	点検するところ	対処方法
濁ったお湯が出る	●近くで断水や水道工事はありませんでしたか。	●水がきれいになったのを確認してからお使いください。 50ページの「断水や近くで水道工事が行われるとき」をご覧ください。
	●タンク内の掃除をしていますか。	●49ページの「タンク内の掃除」によりタンク内の掃除をしてください。
浴槽内の温度が上がらない。	●タンク内の湯温が低くありませんか。	●お湯が設定温度以上に沸くまでお待ちください。
	●浴槽循環金具のフィルターが目詰まりしていませんか。	●50ページの「循環金具の掃除のしかた」により定期的にフィルターの掃除をしてください。 エラー「Ｕ２０」が出ている場合は、51ページの「こんな表示が出たら」によりエラーを解除してください。
湯はりの水位がいつもと違う。	●循環金具より下の水位で浴槽に残り湯がありましたか（湯はりが多いとき）。	●一度排水してから湯はりを行ってください。
	●ふろ湯量が変更されていませんか。	●17ページの「ふろ湯量・ふろ温度を設定する」により、ふろ湯量を調節してください。
	●リセット後の「初めての湯はり」のときにシャワー等でお湯を足したり、途中で湯はりを止めたりしませんでしたか。 ※「初めての湯はり」時は、湯はり水位の全目盛りが点滅しています。	●浴室リモコンのボタン「優先／決定」、「おはなし」、「メニュー」を順番に、同時に３秒以上押して一度リセットしてください。 その後、15ページの「初めての湯はりのしかた」を行ってください。
浴槽に青い線（付着物）が付く。	●銅管が新しいと青い線（付着物）がつくことがありますが、毒性は無く、健康への害は全くありません。	●44ページの「お願いとお知らせ」をご覧いただき、掃除をしてください。
リモコンが操作できない。	●操作ボタンがロックされていませんか。	●44ページの「リモコンのロックのしかた」をご覧いただき、ロックを解除してください。
浴室リモコンが全消灯している。	●浴室リモコンを操作してから５分以上経過しませんでしたか。	●浴室リモコンは省エネのために５分以上操作しないと全消灯します。 いずれかのボタンを押すと再点灯します。 ※給湯温度が５０℃、６０℃に設定されているときは全消灯しません。
リモコンのナビゲーションが聞こえない。	●ナビゲーション設定を変更していませんか。	●「フルナビ」設定以外はナビゲーションが制限されます。 35ページまたは36ページの「ナビゲーションを制限する」により、設定を確認してください。
ヒートポンプユニットが運転／停止を繰り返す。	●気温が低いときは、蒸発器の除霜のため、運転／停止を繰り返します。 ●気温が低いときは、ヒートポンプ配管の凍結防止のため、運転／停止を繰り返します。	●異常ではありません。

症　　状	点検するところ	対処方法
夜間時間帯にヒートポンプユニットが動いていない。	●運転開始時刻は、今までの使用湯量を考慮して自動制御しています。	●異常ではありません。
排水口からお湯が出ている。	●沸上げ運転時は、貯湯タンクユニット内の水の温度が上昇し膨張します。 この膨張分が逃し弁から排水されます。	●異常ではありません。
沸上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる。	●冬期運転中は蒸発器に霜がつくことがあります。	●異常ではありません。
沸上げ運転中、ヒートポンプユニット底板のドレン口から水が出る。	●ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水が出てきます。	●異常ではありません。
残湯表示が一度に数個消える（お湯を使ってないのに残湯表示が消える） 【お湯の使いすぎや、水からの沸かしなおしや、保温時間が長めのときに、起こりやすい現象です。故障ではありません】	●早めにお湯を使えるようにしたいときは…。 【お湯を沸かすには時間が掛かります】	●「沸増し」を設定してください。 《設定方法は、P27、28をご覧ください》 【シャワー1回分なら約40分、入浴1回分なら約90分が目安です】
	●今後、表示を消えにくくしたい場合や、普段もお湯を多めに使うときには…。	●「おすすめ」での使用の場合は「たっぷり」でご使用ください。 《設定方法は、P25、26をご覧ください》 ●もし事前に、お湯を多く使用することがわかっている場合は、「沸増し」を設定しておくと表示が消えにくくなります。

上記の症状について、知っていただきたいこと

本製品は、省エネルギーを目的として、お客様のお湯の使用量を毎日学習し、その量に見合った分を「沸上げ」または「沸増し」を行うことで自動に貯湯しています。よって、普段の使用量を明らかに超えたお湯を使用されると、貯湯機能が追いつかず、残湯表示が多く消灯する場合があります。（おふろの追いだきや沸かしなおしは、直接お湯を使用しなくとも、タンク内の熱量【温度】を使用しています。）
このような場合は、沸上げモードを「たっぷり」にかえていただくか、「沸増し」を設定してください。
ただし、「たっぷり」に設定しても、学習完了の期間（約1週間）までは、足りなくなる恐れがありますので、その際には「沸増し」を設定し、ご使用ください。
また、本製品は貯湯式ですので、タンク内の温度が自然放熱しても残湯表示は消えていきます。よって、お湯の使用をやめてしばらくしてから、残湯表示が消える場合もあります。

仕様

<table>
<tr><td colspan="3">システム形名
貯湯タンクユニット＋ヒートポンプユニット</td><td colspan="2">一般地向け（塩害地向け）</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>HWH-FB370C (-Z)</td><td>HWH-FB460SC (-Z)</td></tr>
<tr><td colspan="3">適用電力制度</td><td colspan="2">季節別時間帯別電灯型・時間帯別電灯型〔通電制御割引対象商品〕</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源定格</td><td colspan="2">単相 200V（50Hz／ 60Hz共用）</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大電流</td><td>17A</td><td>18A</td></tr>
<tr><td colspan="3">沸上げ温度</td><td colspan="2">約 65℃～約 90℃（水温・外気温により可変）</td></tr>
<tr><td colspan="3">年間給湯効率（APF）※1 ※2</td><td>3.3</td><td>3.2</td></tr>
<tr><td colspan="3">仕向地</td><td colspan="2">次世代省エネ基準Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ地域 ※3
●次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域での据え付けは出来ません。最低外気温がマイナス10℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けないでください。
●お湯の使用状態や外気温、自動保温運転などによって沸上げ温度は変化します。●外気温がマイナス５℃以下の場合の最高沸上げ温度は約80～85℃となります。
●連続して外気温がマイナス5℃以下となる地域では寒冷地向け製品を設置してください。</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">用　途</td><td colspan="2">セントラル給湯・ふろ全自動</td></tr>
<tr><td>２～４人家族用</td><td>３～５人家族用</td></tr>
<tr><td colspan="3">貯湯タンクユニット形名</td><td>HWH-FB370CT (-Z)</td><td>HWH-FB460SCT (-Z)</td></tr>
<tr><td rowspan="17">貯湯タンクユニット</td><td colspan="2">タンク容量</td><td>370L</td><td>460L</td></tr>
<tr><td colspan="2">設置条件</td><td colspan="2">屋外・屋内兼用</td></tr>
<tr><td rowspan="3">外形寸法</td><td>幅</td><td>630mm</td><td>630mm</td></tr>
<tr><td>奥行</td><td>730mm</td><td>730mm</td></tr>
<tr><td>高さ</td><td>1800mm</td><td>2140mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約71(441)kg</td><td>約81(541)kg</td></tr>
<tr><td rowspan="5">消費電力</td><td>風呂用ポンプ</td><td colspan="2">65W</td></tr>
<tr><td>追いだき用ポンプ</td><td colspan="2">40W</td></tr>
<tr><td>沸上げ用ポンプ</td><td colspan="2">40W</td></tr>
<tr><td>凍結防止ヒーター</td><td colspan="2">20W</td></tr>
<tr><td>制御用消費電力 ※10</td><td colspan="2">5W</td></tr>
<tr><td colspan="2">最高使用圧力</td><td colspan="2">190kPa（減圧弁設定圧力：170kPa）</td></tr>
<tr><td colspan="2">配管口径</td><td colspan="2">給水・給湯：R3/4　排水：Rc3/4　ふろ循環・ヒートポンプ接続：R1/2</td></tr>
<tr><td colspan="2">給湯温度設定</td><td colspan="2">30℃～48℃（1℃ステップ）、50℃、60℃</td></tr>
<tr><td colspan="2">浴槽の目安</td><td colspan="2">120L～450L</td></tr>
<tr><td colspan="2">ふろ給湯機能</td><td colspan="2">自動湯はり・自動保温・自動たし湯・追いだき・高温たし湯・たし湯・差し水・洗浄</td></tr>
<tr><td colspan="3">ヒートポンプユニット形名</td><td>HWH-450CU (-Z)</td><td>HWH-600CU (-Z)</td></tr>
<tr><td rowspan="13">ヒートポンプユニット</td><td rowspan="3">外形寸法</td><td>幅</td><td colspan="2">820mm</td></tr>
<tr><td>奥行</td><td colspan="2">320mm</td></tr>
<tr><td>高さ</td><td colspan="2">712mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td colspan="2">約60kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">中間期加熱能力 ※5 ※6</td><td>4.5kW</td><td>6.0kW</td></tr>
<tr><td colspan="2">中間期消費電力 ※6</td><td>0.980kW</td><td>1.33kW</td></tr>
<tr><td colspan="2">夏季加熱能力 / 消費電力 ※5 ※7</td><td colspan="2">4.5kW / 0.880kW</td></tr>
<tr><td colspan="2">冬季高温加熱能力 ※4 ※5 ※8</td><td>4.5kW</td><td>6.0kW</td></tr>
<tr><td colspan="2">冬季高温消費電力 ※8</td><td>1.50kW</td><td>2.00kW</td></tr>
<tr><td colspan="2">運転音(冬期/中間期) ※6 ※8 ※9</td><td>44/38dB</td><td>46/42dB</td></tr>
<tr><td colspan="2">冷媒名</td><td colspan="2">R744(CO_2)</td></tr>
<tr><td colspan="2">中間期COP ※6</td><td>4.6</td><td>4.5</td></tr>
</table>

年間給湯効率（APF）について

$$\text{年間給湯効率} = \frac{\text{一年で使用する給湯に係る熱量}}{\text{一年間で必要な消費電力量}}$$

※１年間給湯効率は（社）日本冷凍空調工業会の規格である「JRA4050:2007R」に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお、値は省エネモードである「おすすめ」設定で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等により変わります。

※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で 42℃のお湯を一日に約 425L 使用する条件等を想定したものです。

※2 沸上げモード：「おすすめ」設定

※3 北海道、青森、秋田、岩手等　次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域での据付はできません

※4 低外気温時は除霜の為、加熱能力が低下することがあります。

※5 沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※6 作動条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）16℃/12℃、水温 17℃、沸上げ温度 65℃

※7 作動条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）25℃/21℃、水温 24℃、沸上げ温度 65℃

※8 作動条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）7℃/6℃、水温 9℃、沸上げ温度 90℃

※9 運転音は、JRA4050 規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

※10 中間期条件で、沸上げ、給湯などの動作がなく、リモコンは消灯（待機）した状態の時に測定した数値です。なお、メインリモコンと浴室リモコンを 2 個接続した状態で測定しています。

※仕様は改善のため変更することがあります。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

システム形名 貯湯タンクユニット+ヒートポンプユニット		寒冷地向け	
		HWH-FB370CN	HWH-FB460SCN
適用電力制度		季節別時間帯別電灯型・時間帯別電灯型〔通電制御割引対象商品〕	
電源定格		単相 200V（50Hz／60Hz共用）	
最大電流		17A	18A
沸上げ温度		約 65℃～約 90℃（水温・外気温により可変）	
年間給湯効率（APF）※1 ※2		3.3	3.2
仕向地		次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域 ●最低外気温がマイナス25℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けないでください。 ●最低外気温がマイナス10℃を下回る地域では、貯湯タンクユニットは屋内に設置してください。 ●お湯の使用状態や外気温、自動保温運転などによって沸上げ温度は変化します。	
用　途		セントラル給湯・ふろ全自動	
		2～4人家族用	3～5人家族用
貯湯タンクユニット形名		HWH-FB370CTN	HWH-FB460SCTN
貯湯タンクユニット	タンク容量	370L	460L
	設置条件	屋外・屋内兼用	
	外形寸法 幅	630mm	630mm
	外形寸法 奥行	730mm	730mm
	外形寸法 高さ	1800mm	2140mm
	質量	約71(441)kg	約81(541)kg
	消費電力 風呂用ポンプ	65W	
	消費電力 追いだき用ポンプ	40W	
	消費電力 沸上げ用ポンプ	40W	
	消費電力 凍結防止ヒーター	30W	
	消費電力 制御用消費電力 ※9	5W	
	最高使用圧力	190kPa（減圧弁設定圧力：170kPa）	
	配管口径	給水・給湯：R3/4　排水：Rc3/4　ふろ循環・ヒートポンプ接続：R1/2	
	給湯温度設定	30℃～48℃（1℃ステップ）、50℃、60℃	
	浴槽の目安	120L～450L	
	ふろ給湯機能	自動湯はり・自動保温・自動たし湯・追いだき・高温たし湯・たし湯・差し水・洗浄	
ヒートポンプユニット形名		HWH-450CUN	HWH-600CUN
ヒートポンプユニット	外形寸法 幅	820mm	
	外形寸法 奥行	320mm	
	外形寸法 高さ	712mm	
	質量	約66kg	
	中間期加熱能力 ※4 ※5	4.5kW	6.0kW
	中間期消費電力 ※5	0.980kW	1.33kW
	夏季加熱能力 / 消費電力 ※4 ※6	4.5kW / 0.880kW	
	冬季高温加熱能力 ※3 ※4 ※7	4.5kW	6.0kW
	冬季高温消費電力 ※7	1.50kW	2.00kW
	運転音(冬期/中間期) ※5 ※7 ※8	44/38dB	46/42dB
	冷媒名	R744(CO_2)	
	中間期COP ※5	4.6	4.5
	凍結防止ヒーター	55W	

年間給湯効率（APF）について

$$\text{年間給湯効率} = \frac{\text{一年で使用する給湯に係る熱量}}{\text{一年間で必要な消費電力量}}$$

※1 年間給湯効率は（社）日本冷凍空調工業会の規格である「JRA4050:2007R」に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお､値は省エネモードである「おすすめ」設定で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定や ご使用条件等により変わります。
※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で 42℃のお湯を一日に約 425L 使用する条件等を想定したものです。
※2 沸上げモード：「おすすめ」設定
※3 低外気温時は除霜の為、加熱能力が低下することがあります。
※4 沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※5 作動条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）16℃/12℃、水温 17℃、沸上げ温度 65℃
※6 作動条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）25℃/21℃、水温 24℃、沸上げ温度 65℃
※7 作動条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）7℃/6℃、水温 9℃、沸上げ温度 90℃
※8 運転音は、JRA4050 規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
※9 中間期条件で、沸上げ、給湯などの動作がなく、リモコンは消灯（待機）した状態の時に測定した数値です。なお、メインリモコンと浴室リモコンを 2 個接続した状態で測定しています。
※仕様は改善のため変更することがあります。

この製品は､日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また､アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

5 年保証に関する免責事項について（重要なお知らせ）

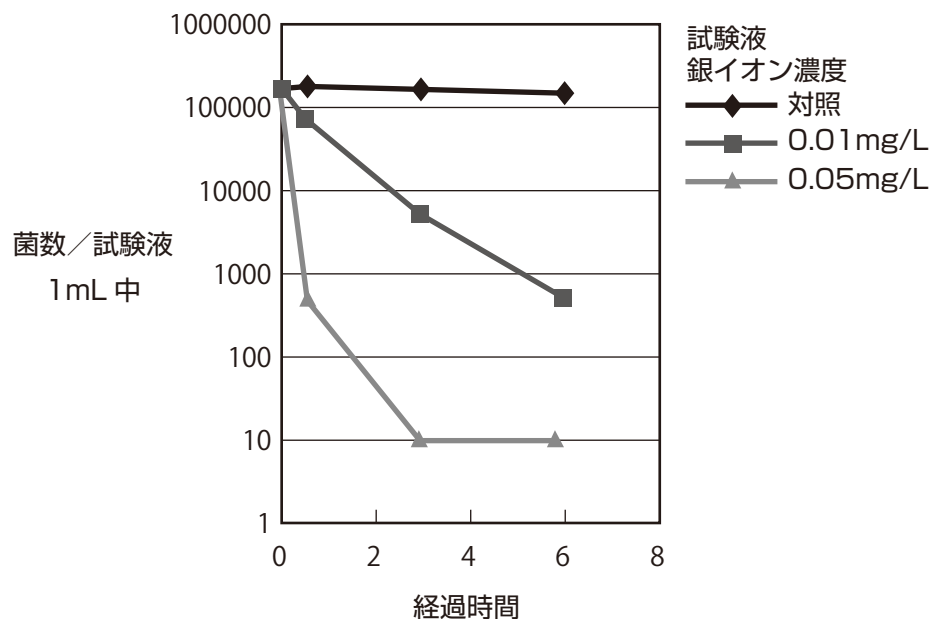
- ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 少しでも長くお使いいただくために、取扱説明書の内容に従って定期的にお手入れと日常点検を行ってください。
- 下記内容および取扱説明書・工事説明書の内容を守らなかったために発生した不具合については保証期間内であっても、無償保証の対象外となります。

- 消耗部品（減圧弁、逃し弁、ミキシングバルブ、電磁弁、ポンプ、電動弁、水位センサ、銀イオン発生ユニット）の交換。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
- 保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
- 施工上の誤り、据付不良による故障および損傷。
- 海岸近くでご使用される場合。（塩害地向け製品を除く）
- お買い上げ後の落下や取付場所の移動、輸送などで生じた故障および損傷。
- 誤ったご使用や不当な修理・改造をされた場合。
- 火災、天変地変（地震、風水害、落雷など）、温泉地等の地域における腐食性の有毒ガス等の空気環境に起因する不具合で生じた故障および損傷。
- タンクに供給する水が以下の場合。
  - 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を使用した場合。

    ※水質基準内であっても塩素濃度・石灰分・その他不純物の含有、また酸性水質の場合にはタンク・部品などの劣化を早め故障・水漏れの原因となる場合があります。
  - 温泉水・地下水・井戸水を使用した場合。（不具合が発生した場合、無償保証はできません。）
  - マンション等の貯水槽において、特に高濃度の塩素が含まれた水を製品に供給した場合。（タンク・部品の劣化を早め、故障・水漏れの原因となる場合があります。規定内の塩素濃度で管理された水をご使用ください。）
- 異常電圧、異常水圧など電気・給水の供給トラブル・凍結等による故障および損傷。
- 一般家庭用以外（例えば、業務用に使用、車両、船舶などへ備品として搭載、食品保存や機器の冷却、動植物・精密機械・美術品の保存など特殊用途）に使用された場合の故障および損傷。
- 浴室など湿気の多い場所や他の機器の影響（振動など）による故障および損傷。
- 降雪地で小屋がけしないで屋外に設置し、雪による故障および損傷。
- ねずみ・カエル・ヤモリ等の動物の行為に起因する不具合。
- 経年変化または通常の使用損傷により発生する不具合。（音、振動、錆、傷、塗装の脱色など機能に影響のない範囲内の感覚的な現象の場合。）
- 当社純正別売部品を使用せずこれが原因で本体不良となった場合。
- 防水処理・排水処理されていない床面に設置された場合の水漏れによる二次被害。
- 台所用リモコンに水をかけた場合。（台所用リモコンは防水タイプではありません。水をかけると故障の原因になります。また浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかぶせたりしないでください。）
- 機器の故障に起因した営業補償などの二次補償はいたしません。
- 決められた電源以外でご使用された場合、あるいは海外で使用した場合。（本機種は日本国内専用です。）

銀イオンの効果

おふろの湯はり水路に銀イオン発生ユニットを搭載しました。
銀イオンには、除菌・防臭効果がありますのでお湯の水質を保つ効果が期待できます。
銀イオン効果を安定的に発生させるため、湯はりする湯量に応じて、銀イオン濃度を自動コントロールしています。
銀イオン濃度は、銀イオン発生後、水質、配管材質などの影響を受けますが、浴槽到達時点（入浴前）で、約 0.01 ～ 0.05 ｍｇ／Ｌの間になるよう設計しています。

銀イオンによる菌の抑制

- **試験機関**：（財）北里環境科学センター
- **試験方法**：菌 15 万個を含んだ試験液 1mL に銀イオンを付加した場合と付加しなかった（対照）場合で、試験液中の菌数を測定
- **試験結果**：報告書番号　北生発　21_0163_2
  上記試験において銀イオン濃度 0.01mg/L で、6 時間後に菌を 99.0%以上抑制
  銀イオン濃度 0.05mg/L で、30 分後に菌を 99.0%以上抑制

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝電気給湯機ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-19**

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど **03-5365-7420**（通話料：有料）

FAX **0947-32-2892**（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

●この東芝ヒートポンプ給湯機には、保証書を別途添付しております。

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●この東芝ヒートポンプ給湯機の保証期間は、お買い上げいただいた日から5年です。（ただし、消耗部品は対象外です）

●その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

●ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年間です。

●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。

●修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電遮断器を「切」にし、専用止水せんを閉じてからお買い上げの販売店にご相談ください。修理は専門の技術が必要です。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合にはご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	ヒートポンプ給湯機
システム形名	HWH−□□□□□□□
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されておくと便利です。 TEL.

★長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！

愛情点検

このような症状はありませんか。	●お湯の出が悪い。●お湯が早くなくなる。 ●逃し弁の逃し管から昼間、常にお湯が流れている。 ●設置場所が常にぬれている。 ●時々、漏電遮断器が働く。 ●その他の異常、故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、漏電遮断器を「切」にし、専用止水せんを閉じてから、必ずお買いあげの販売店に点検修理（有料）をご相談ください。

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地
http://www.toshiba-carrier.co.jp/

EF99903601-⑧